

R6 総論提案

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成（2年次）

中学校

「グローバル市民」コモン・ルーブリックを活用した学習のあり方

池田地区公開研究会
2024年11月16日（土）

ふかめ



主体的な人

寛容な人

つながりのある人

IKEDA GLOBAL

池田地区が考えるこれからのグローバル市民

探究力のあふれる人

高等学校

はばたく



小学校

ひらき



池田地区が一体となって12年間の教育を進めていく

大阪教育大学池田地区附属学校研究発表会

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成
～「グローバル市民コモン・ループブリック」を活用した学習のあり方～
(2年次)

昨年度 (R5) の研究

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成

池田地区が考える「グローバル市民」

予測困難な時代におけるグローバル社会を多様性を認めながら
生き抜いていくことができる。

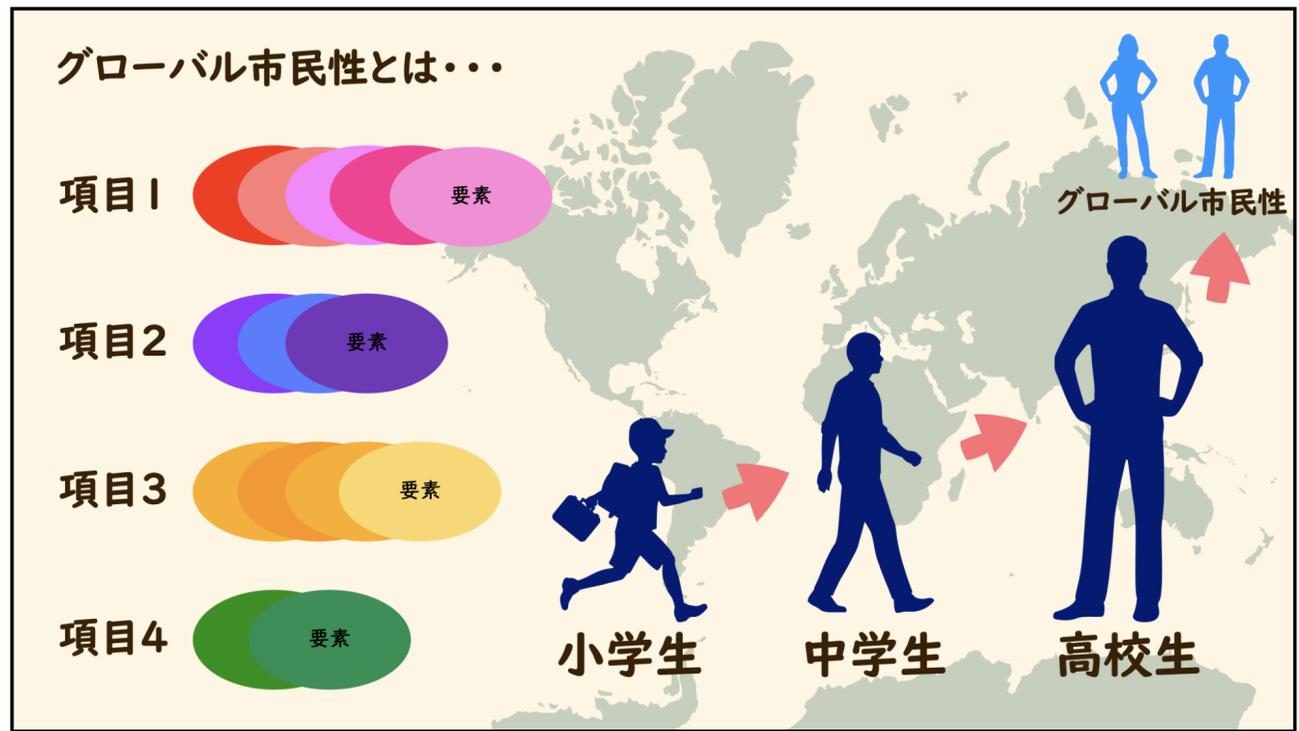


学習目標・評価方法の構築

教科

行事

生活



2030年問題

Well-being

「VUCAな時代」

Volatility (変動性)

Uncertainty (不確実性)

Complexity (複雑性)

Ambiguity (曖昧性)

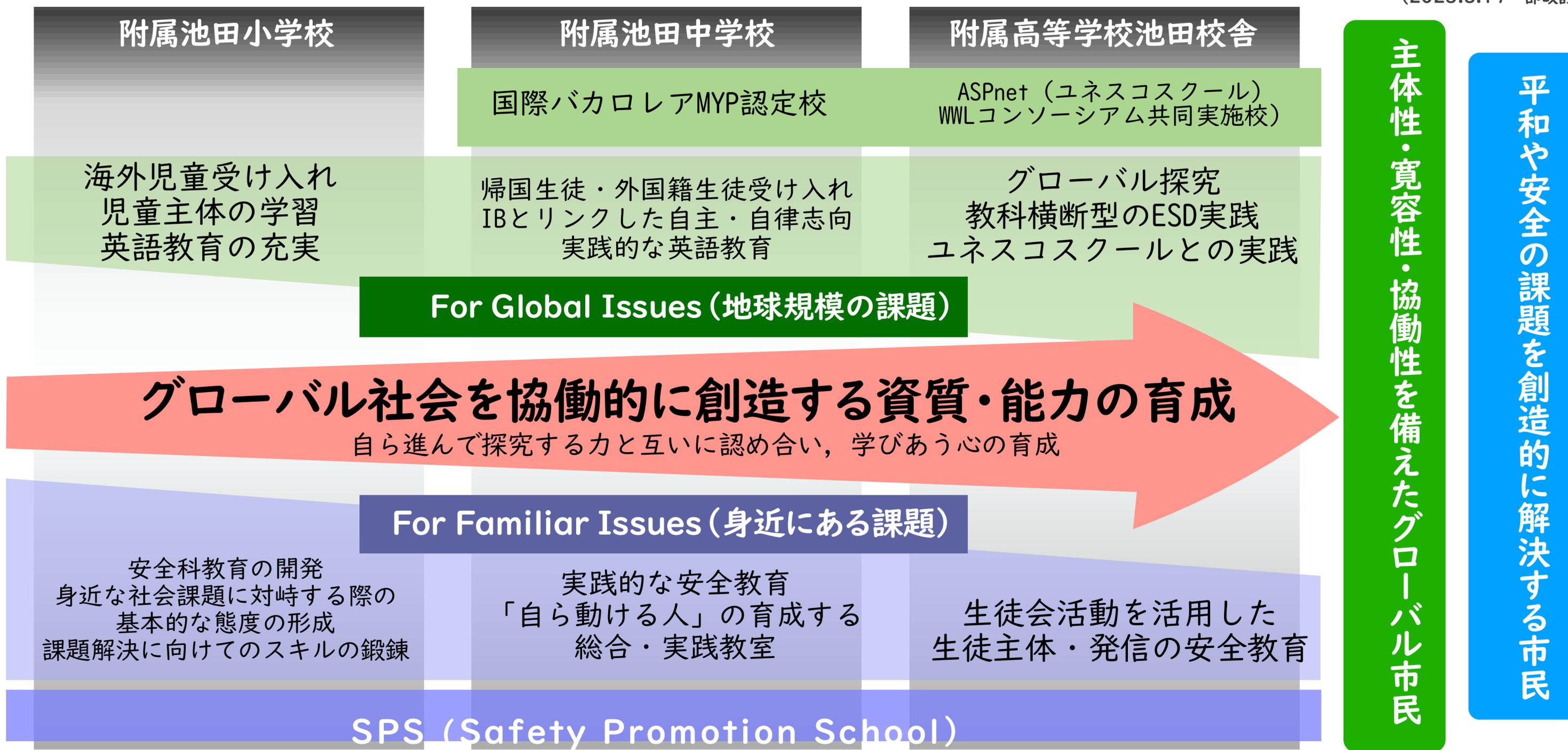
コンピテンシー



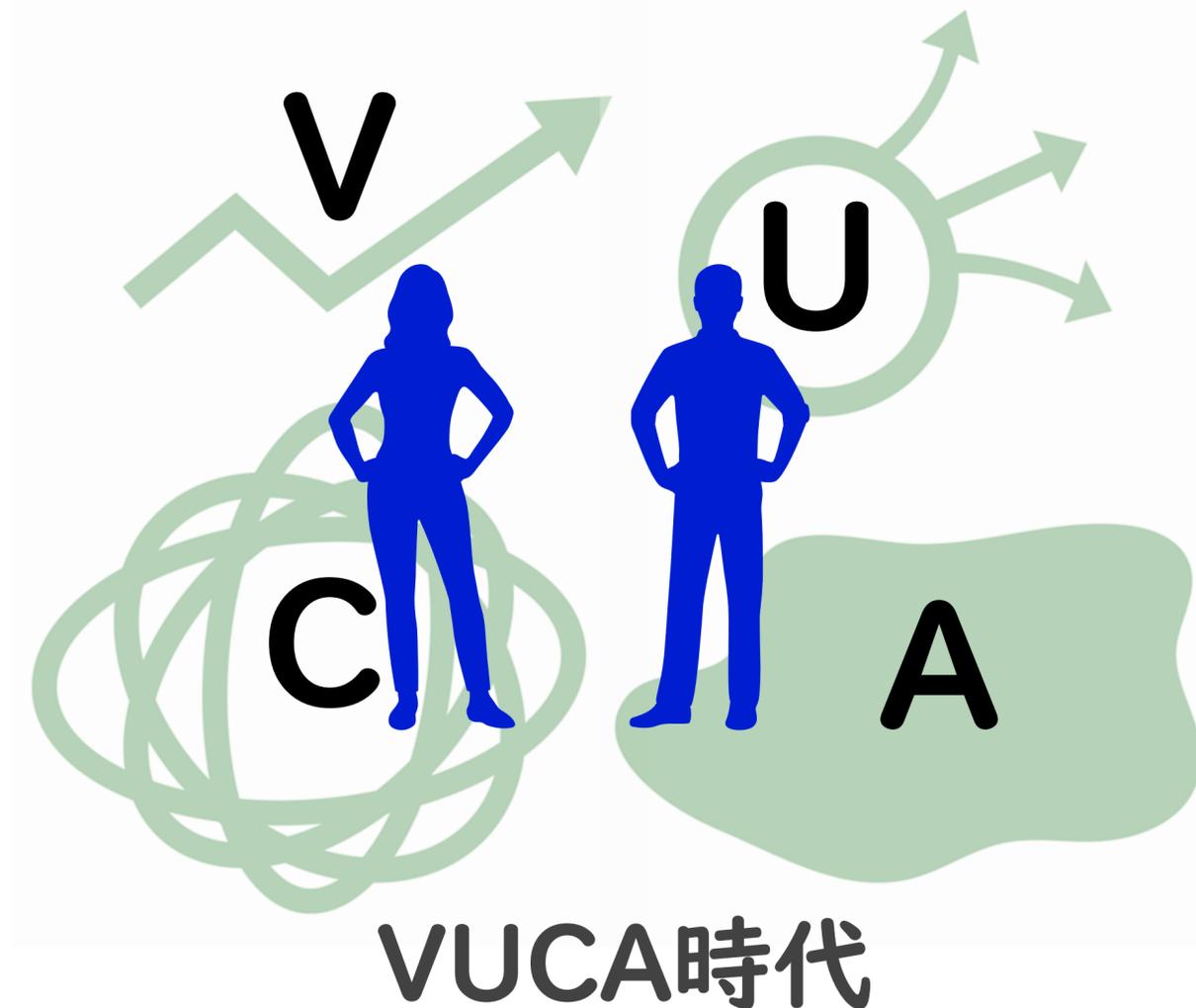
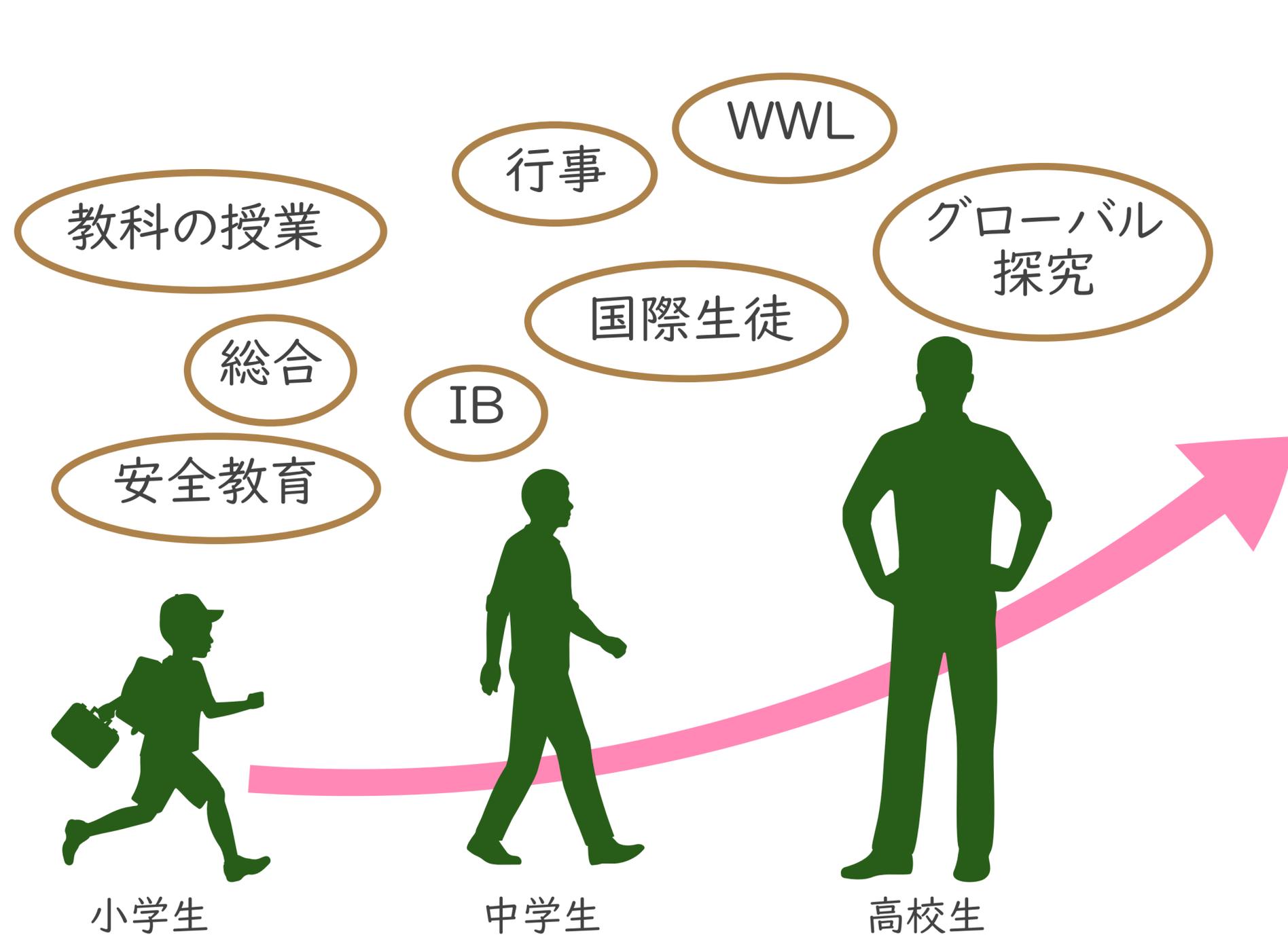
OECD (経済協力開発機構) Education2030プロジェクトより

池田地区トータルコンセプト図

(2023.3.17一部改訂)



12年間の発達における学習目標・評価指標が存在しない



発達段階における目標を示したコモン・ルーブリックの作成

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年



各教科・行事に
ローカライズ

小中高における、生活や各教科の学習、行事などで児童・生徒の「グローバル市民性を育む教育目標」と「評価指標」づくりの基としての活用をめざすもの

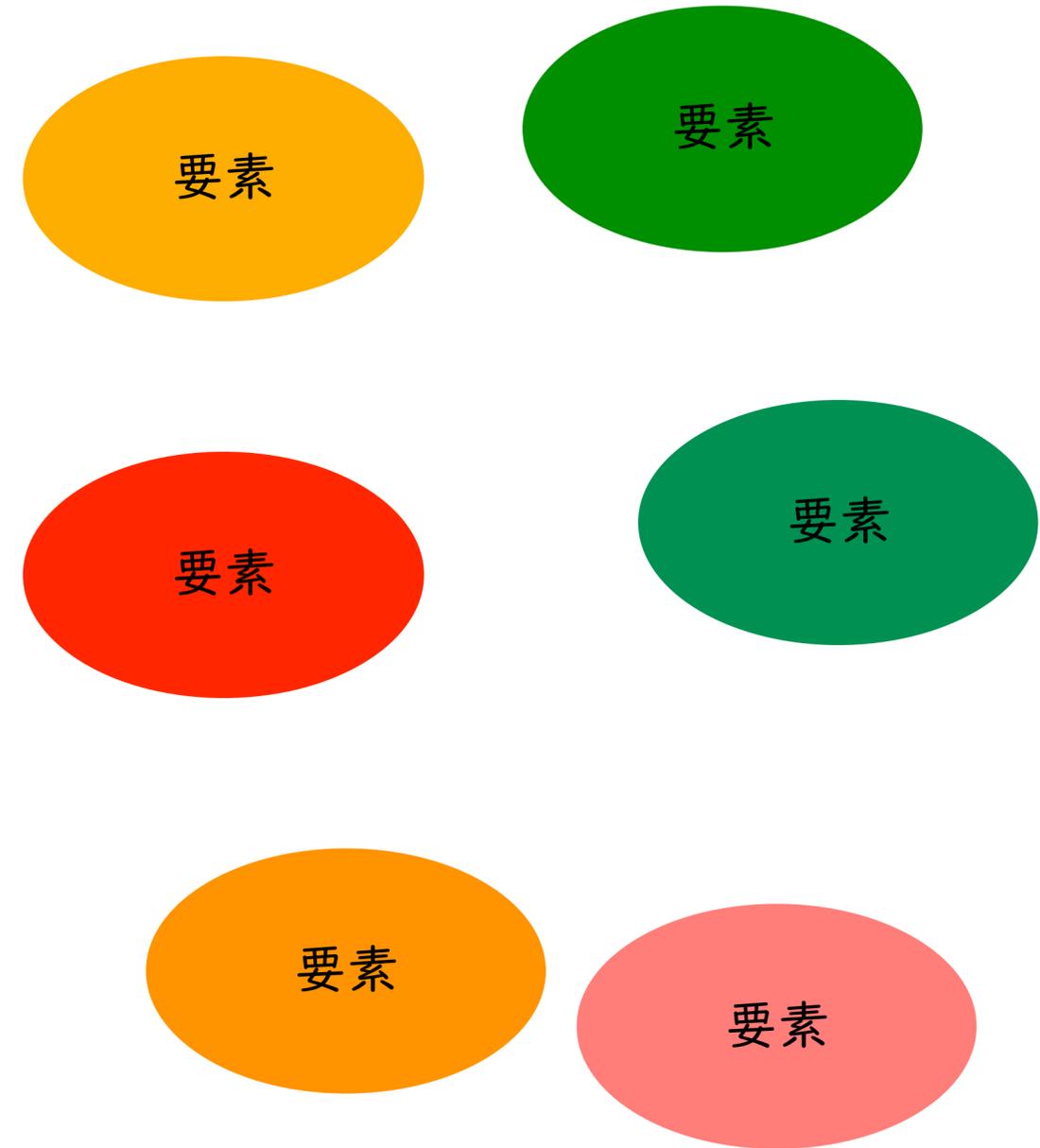
グローバル市民とは・・・

研究の経緯

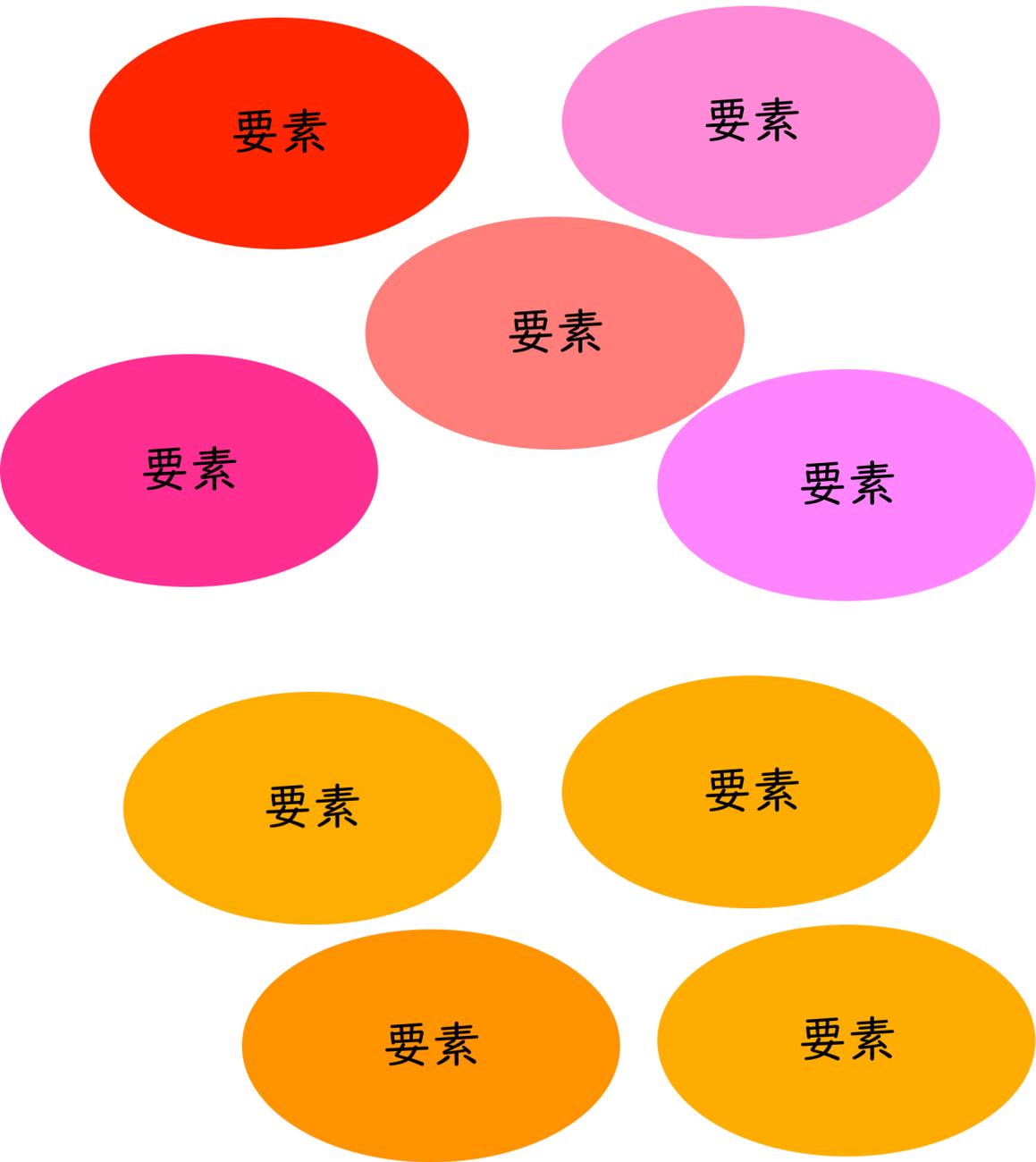


グローバル市民

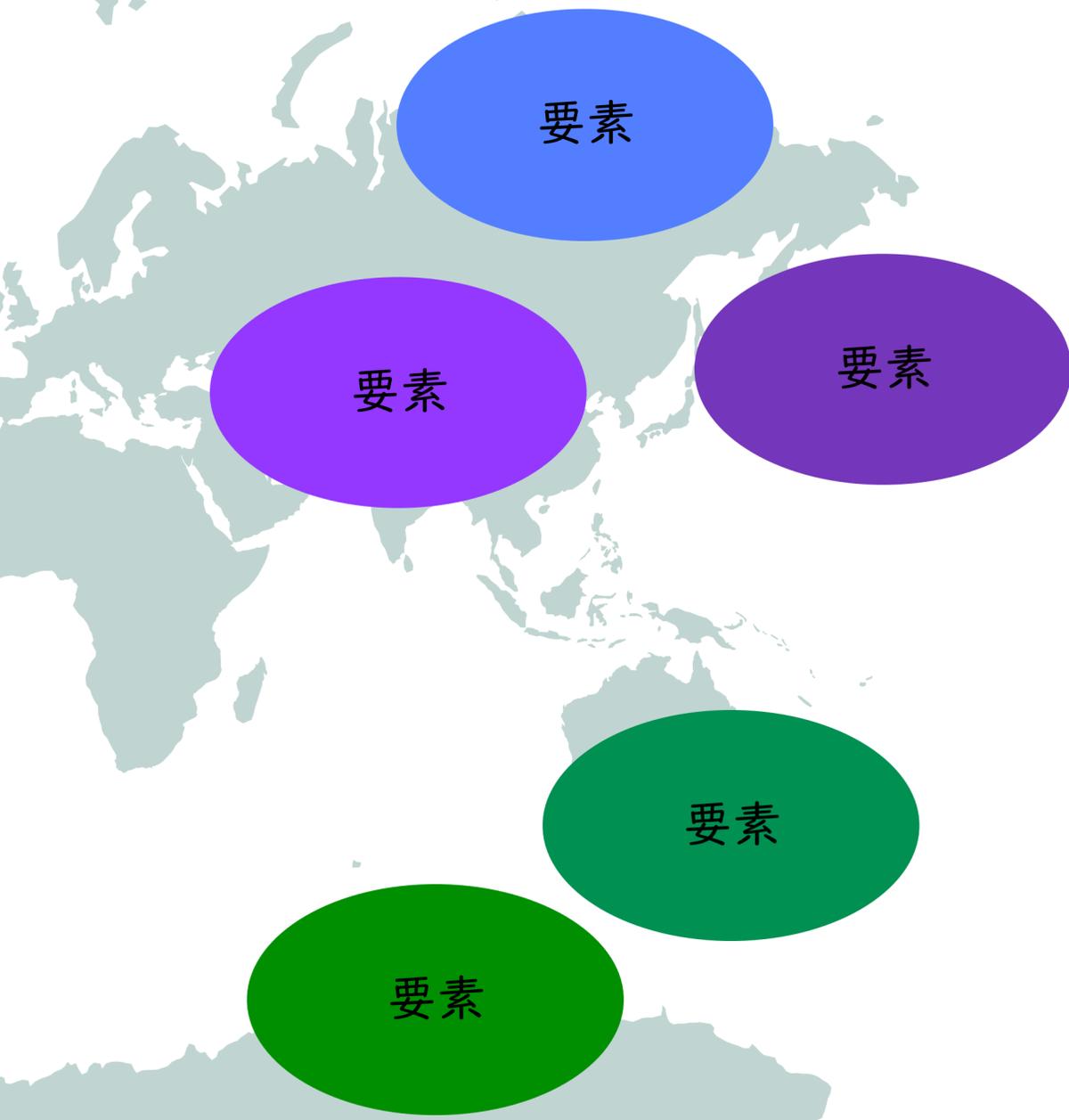
グローバル市民とは・・・

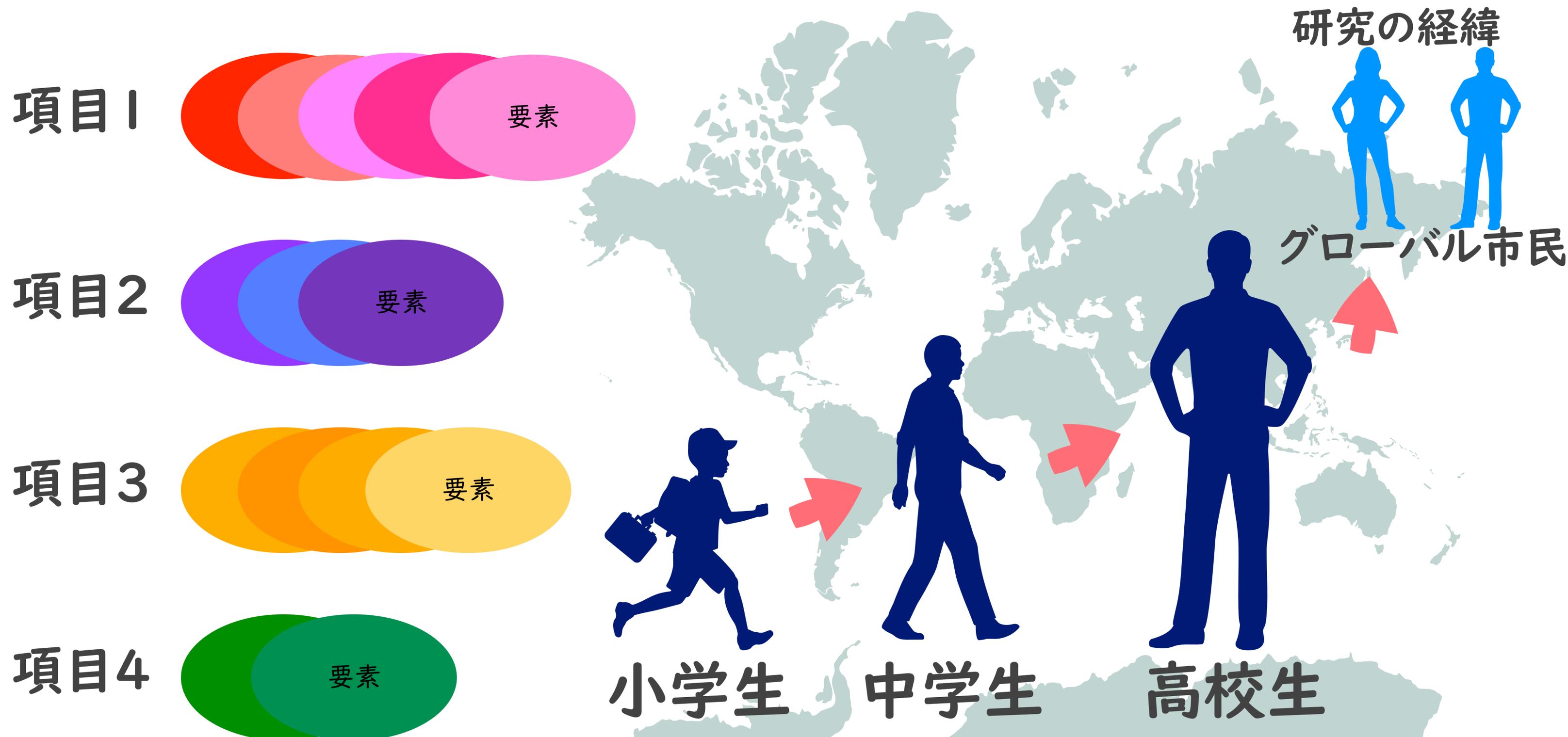


グローバル市民とは・・・



研究の経緯





研究の経緯(4月)

「グローバル市民」に必要な要素とは何かを考える

子どもの学びの姿から見いだす



①教材が持つ力 (特性)
②教師が持つ力 (発問)
③学習集団の力 (グループワークや発言)

2年 「長さ」

目標 長さをさまざまな任意単位で測りとり、普遍単位の必要性を感じる。
展開

行動面		学習活動	活動上の留意点
自己	他者	どちらの直線が長いでしょうか。	
 必死にうつす 糸の長さ 紙の長さ 紙の長さ	 全員が考えを意見表示する 各自が測る Aの方が短い、けれど入った 長さの揃	<p>1. さまざまな道具を用いて、測り方を考える。 ・直接くらべられないとなると… ・何かものを使えばいいんじゃないかな。 ・例えば、消しゴム何個分とか。 ・長いものを使えば一気にはかれるかも。</p> <p>2. 測った結果を共有する。 ・私たちはAが消しゴム10個分、Bが9個分でAが長かったよ。 ・え!!こっちは、ほうきで測ったけど、印をつけているところを見比べるとBの方が長かったよ。</p> <p>3. 普遍単位について知る。 ・違う方法でしてみたけど、やっぱりほかのグループと結果が違ったよ。 ・正しく測れていないからじゃないかな。 ・しっかりと長さを測ることが大事だね。</p>	<p>○グループで活動を行うが、それぞれのグループで対象物の長さが違うものを用意する。 ○ものさしは使わないことを条件とする。また、直接比較はできないことも条件とする。</p> <p>○それぞれの結果がことなることから、どの方法が良さそうなのかを一度模索させる。 ○出てきた方法で、まだやっていない方法を使って長さを測るようにする。 ○さまざまな方法で測り取るが結果が他のグループと異なることをつかませる。それによって、測り方や測るものによって結果がことなるのではないかと考えさせる。 ○普遍単位を扱うことによって、しっかりと長さを把握できることを感じさせる。</p>

記録者名 (三好)

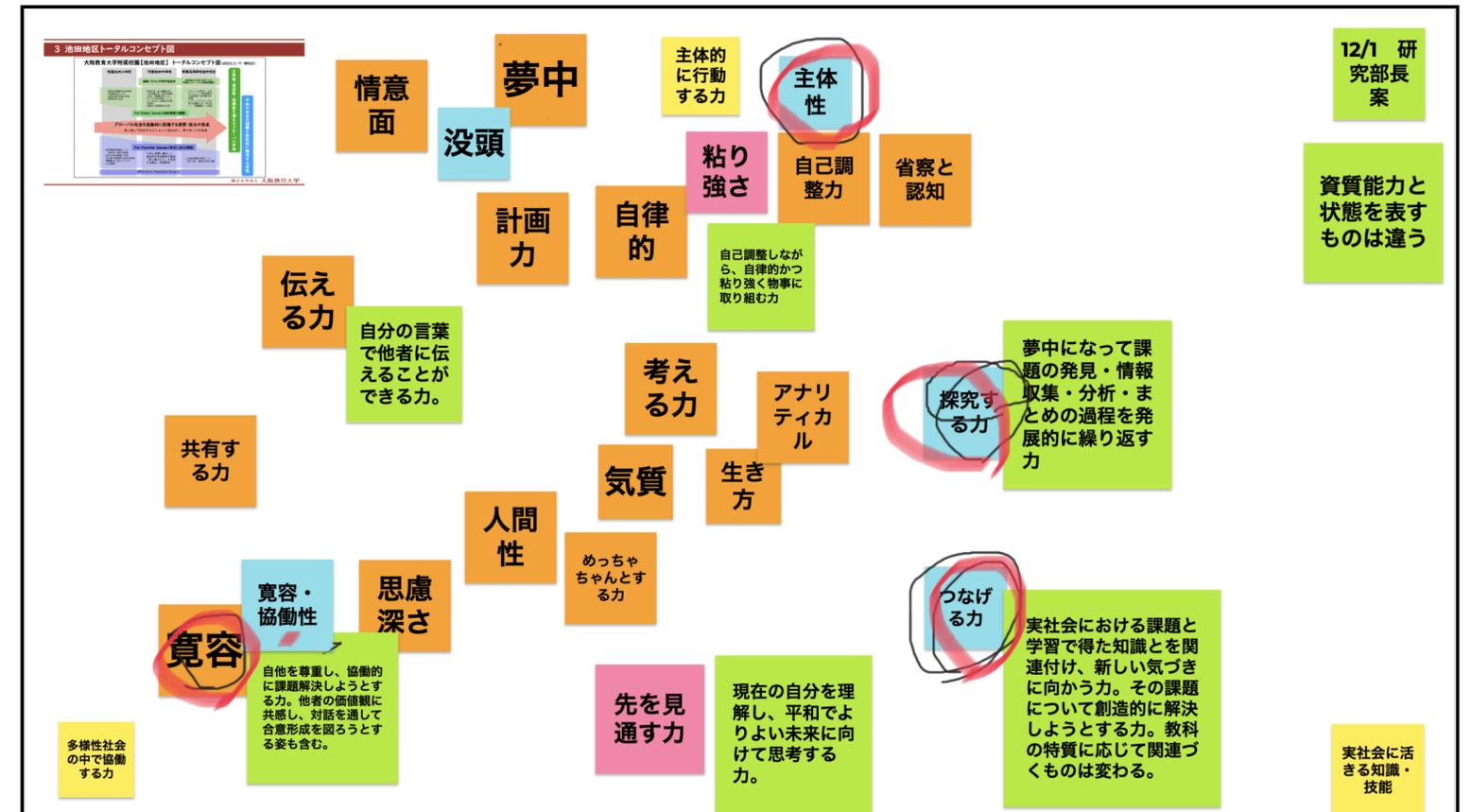
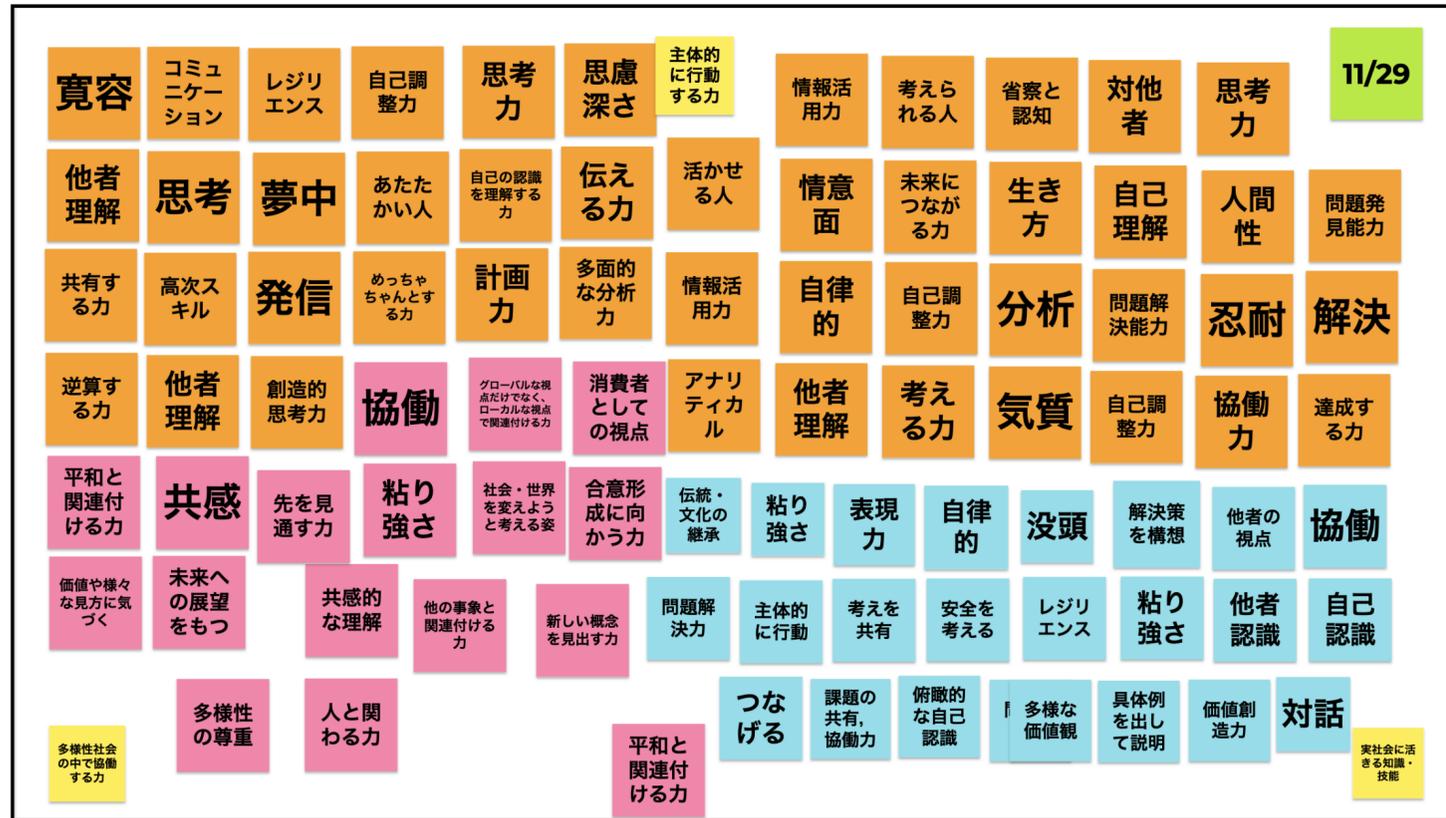
画像や動画+一言
【その瞬間の様子、〇〇性】

思考面

自己	他者
 数を数えて声を出す。 ものさしは使わない(〇) 三條くんのうさぎ えーってしてはえーと測らなく? なぜバラバラ? ちがうものはかいてあるが測れていました。 全員同じものを測らなく?	 1mmでも測れたらOK

グローバル市民の要素をまとめる作業

研究の経緯(11~12月)



8/22
研究会
意見

12/25
提案

池田地区が考える「グローバル市民」案10

主体的な
人

自ら進んで行動し、自己調整しながら、自律的かつ粘り強く物事に取り組む

寛容な人

身近な他者や異なる文化の価値観をも尊重し、互いに認め合う

つなぐ力のある人

様々な知識と世の中の出来事とを関連づけて考えたり、多様な人とのつながりを大切にしたりする

探究力のある人

身近なものごとや世界の出来事に関心を持ち、夢中になって真理や理想を探究する

小学生

中学生

高校生

「グローバル市民」 コモン・ルーブリックの完成

研究の経緯(3月)

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。 高等学校	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。 中学校	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。 高学年	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。 低学年
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。 各校種でのゴール	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に追究 することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究 することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究 することができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究 することができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考え方に対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考え方に対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考え方に対して 共感の姿勢 で接することができる。

「グローバル市民」 コモン・ルーブリックの完成

研究の経緯(3月)

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと, 新たな試みの視点 などから目標を持ち, その達成に向けて 自主的に粘り強く, 創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと, 試みの視点 などから目標を持ち, その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと, 試みの視点 などから目標を持ち, その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから 目標 を持ち, その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え, 周りの人たちや異なる文化圏の人たち との協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え, 地域社会 の人たちとの協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え, 学校 の人たちと 協力して 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え, 学級 の人たちと 力を合わせて 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として, 身近なコミュニティ や 世界の出来事 から課題を見出し, その解決に向けて取り組み, 振り返りながら, 創造的に追究 することができる。	自らの問題として, 身近なコミュニティ から課題を見出し, その解決に向けて取り組み, 振り返りながら追究 することができる。	自らの問題として, 身の回り から課題を見出し, その解決に向けて取り組み, 振り返る ことができる。	自らの問題として, 身の回り の課題に気づき, その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し, 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し, 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し, 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

今年度 (R6) の研究

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成

R5 グローバル市民とは何かを定義づけていく

グローバル市民性とは何かを子どもの姿から見出していく

グローバル市民コモン・ルーブリックの作成

R6 グローバル市民コモン・ルーブリックを各教科へ落とし込む

グローバル市民コモン・ルーブリックを各教科，活動にローカライズしていく

R7 グローバル市民コモン・ルーブリックの評価・改善

グローバル市民コモン・ルーブリックを活用し，評価・改善を行う

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強い取り組み ができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強い取り組み ができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強い取り組み ができる。	これまでの経験や学んだことから目標を持ち、その達成に向けて 進んで取り組み ができる。
つながりがある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に物事を考え 、 周りの人 と力を合わせて取り組むことができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 地域社会の人 との協力を構築することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学校 と力を合わせて取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 学級の人 たちと力を合わせて取り組むことができる。
探究力がある人	自らの問題として、 身近なコミュニティ や 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて 粘り強い取り組み 、 振り返り ながら、 創造的に追究 することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて 粘り強い取り組み 、 振り返り ながら 追究 することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて 粘り強い取り組み 、 振り返り ることができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて 粘り強い取り組み ができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

1 池田地区における教育活動の共通認識

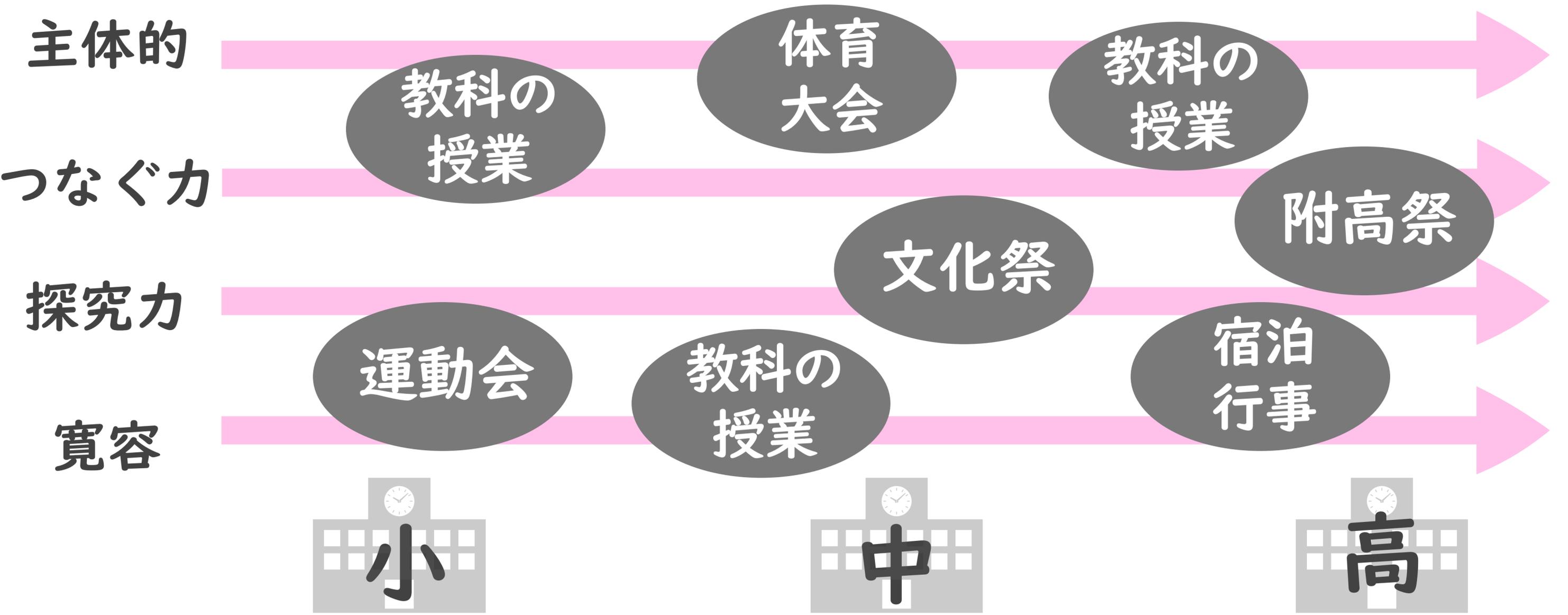
2 各教科、行事への具体的な適用

3 教育改善とフィードバック

池田地区における教育活動の共通認識

小中高の連携
同じ視点で議論

池田地区が考える「グローバル市民」



めざす児童・生徒像

2 各教科, 行事への具体的な適用

中学2年生 数学「6章 データの分布と確率」

【探究力のある人】 ①

【中学校2年数学】

①選択項目→「探究力のある人」

グローバル市民 コモン・ルーブリック



自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

②学習との関連

単元を通して「地球温暖化は進行しているのか」という問いを解決すべく、「調査報告書」を作成するという課題を設定した。PPDACサイクルを回す中で個人、班で調査を行い、調査から得られた課題を次なる調査へつなげていく授業展開を行う。データを元に調査をする中で課題を発見し、次なる課題を見つけ出すというサイクルを回す。この学習によって生徒の探究力を育みたい。

③目標達成するためにつけるべき力

- i) 地球温暖化に関わる要因をデータをもとに調査する力
- ii) PPDACサイクルから得られた課題から次なる課題を見つける力

④評価規準の設定

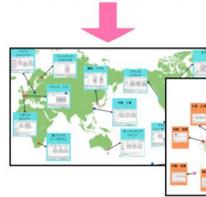
- i) データを処理し、箱ひげ図を用いて温暖化の進行を調査することができる
- ii) PPDACサイクルによって見えてきた課題を言語化し次なるサイクルですべきことを見出すことができる

●実践内容

班ごとに地球温暖化に関わる要因を探し出し調査



PPDACサイクルから得られた課題を言語化し、次なるサイクルにつなげるための調査方法を提案する



●成果と課題

身近な都市の調査から始まり、世界の都市や気温以外の要素に目をむけることができた。また箱ひげ図の活用に至っては年代を揃えることの必要性が生徒から出てきた。さらに、地球温暖化との因果関係があるかどうかについて考える必要性にも気づいた。中学段階での探究力のある人の目標に近づくことができた。しかし、自らの問題として初めに課題を見つけ出すという視点においては、教師からの主導になってしまうところがあったため、改善が必要だと感じる。

国立大学法人 大阪教育大学

教科の目標設定

運動会

授業

小

附高祭

中学1年生 宿泊研修(神戸)

【つなぐ力のある人】

【校種 学年 教科】

①選択項目→「つなぐ力のある人」



これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、地域社会の人たちとの協働を構想・実践することができる。

②学習との関連

宿泊研修を通して、神戸という街を題材に探究テーマを立て、個人、班で調査し、報告書にまとめて発表をするという探究の過程を行う。この学習によって生徒のつなぐ力を育みたい。

③目標達成するためにつけるべき力

- 1) 神戸という街を題材にグローバルの文脈をもとに、探究のテーマを設定する力。
- 2) 探究の過程をどのように行なっていくか見通す力。人と人を繋げる、人とのつながり、他の小学校から来た人たちとのつながり。

④評価規準の設定

- 1) グローバルな文脈に沿って探究のテーマを設定することができる。
- 2) 探究の過程が問いをたて、調査し、計画、行動、まとめるという一連の流れでできていることがわかる。

●実践内容



神戸研修のまとめ

探究の問い

仮説

探究のサイクル振り返り

1事前調べ、FWO調査結果

2調査結果の考察

3振り返り

4まとめ

5発表

6振り返り

7まとめ

8発表

9振り返り

10まとめ

11発表

12振り返り

13まとめ

14発表

15振り返り

16まとめ

17発表

18振り返り

19まとめ

20発表

21振り返り

22まとめ

23発表

24振り返り

25まとめ

グローバルな文脈や探究の問い、仮説などの事前学習

事前学習のまとめ

探究の問い

仮説

探究のサイクル振り返り

1事前調べ、FWO調査結果

2調査結果の考察

3振り返り

4まとめ

5発表

6振り返り

7まとめ

8発表

9振り返り

10まとめ

11発表

12振り返り

13まとめ

14発表

15振り返り

16まとめ

17発表

18振り返り

19まとめ

20発表

21振り返り

22まとめ

23発表

24振り返り

25まとめ

●成果と課題

1年生では、宿泊研修で神戸へ学習に行く。総合的な学習の時間で身近な神戸の街について探究のテーマを設定し、事前学習や神戸FWOを通して調査し、その結果を考察、振り返りを行なった。これが3年間の探究のサイクルの基礎を築くことができたと考えている。

国立大学法人 大阪教育大学

宿泊行事の目標設定

3 教育改善とフィードバック

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて進んで取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に物や事、人との協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に物や事、人との協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に物や事、人との協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に物や事、人との協働を構想・実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組み、 振り返ることができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に 共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢で接することができる。

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

【例：小学校高学年修学旅行】

①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行

②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定

- i) ～～する力
- ii) ～～する力
- iii) ～～する力
- iv) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）

- i) ～～することができる
- ii) ～～することができる
- Ⅲ) ～～することができる
- iv) ～～することができる

【例：中学校数学】

①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育

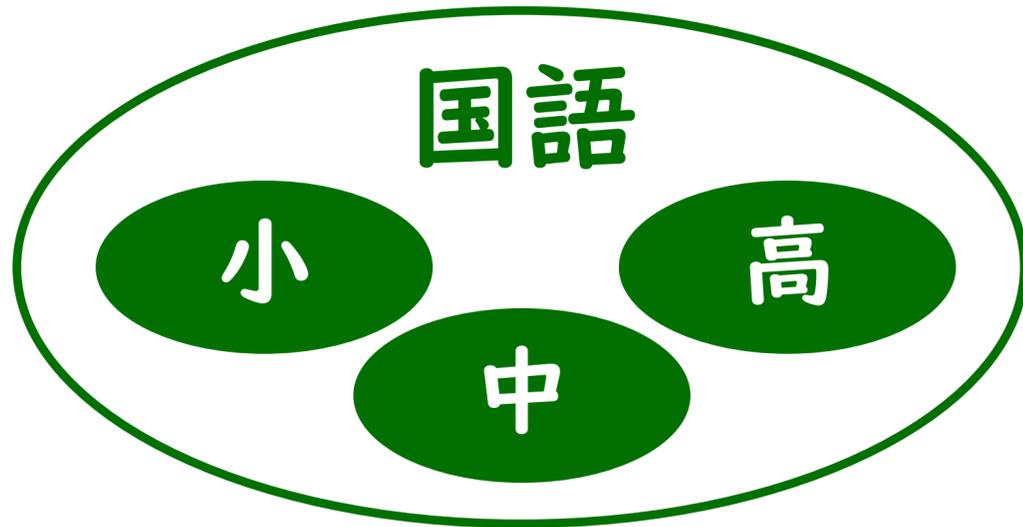
②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定

- i) ～～する力
- ii) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）

- i) ～～することができる
- ii) ～～することができる。

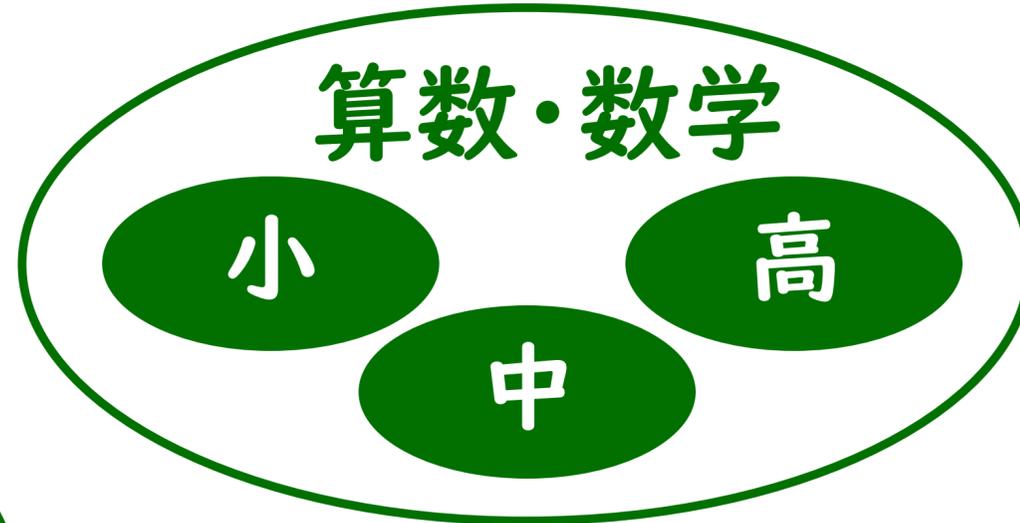
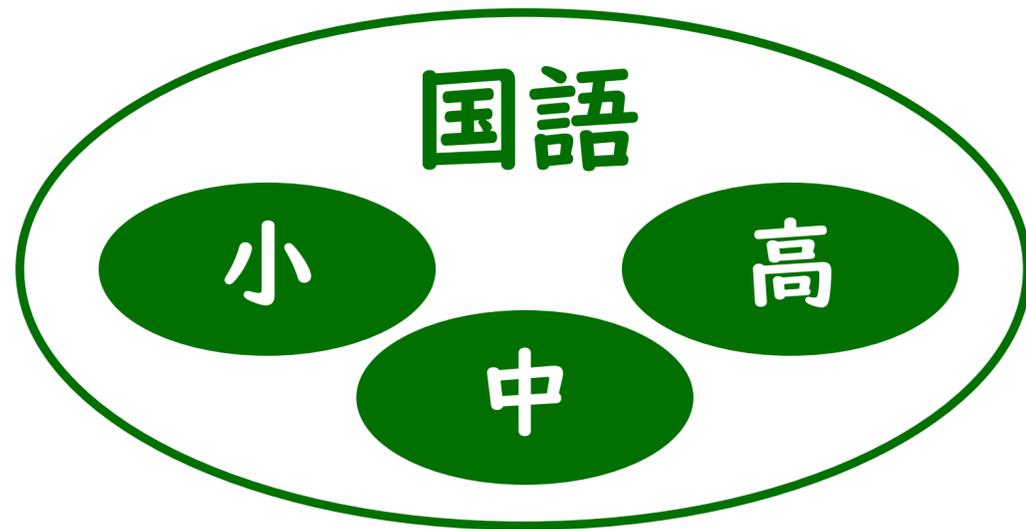
教科領域部会



グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから 目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 地域社会の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学校の人たちと協力して 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 学級の人たちと力を合わせて 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に追究 することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究 することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて取り組みることができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

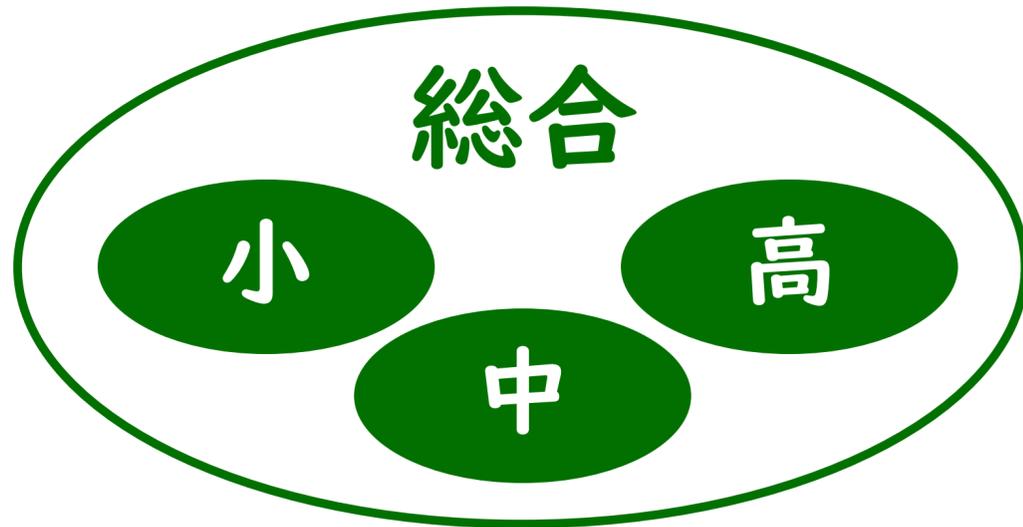
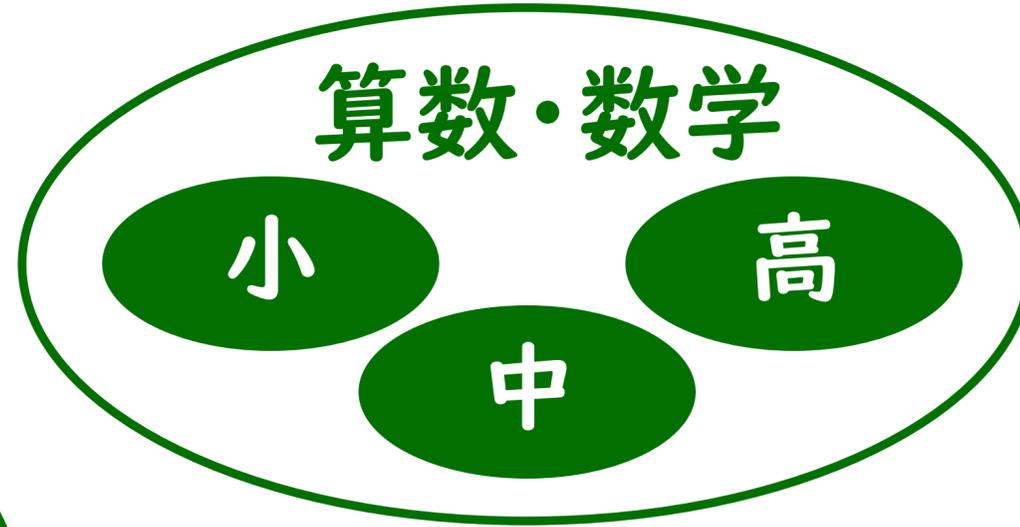
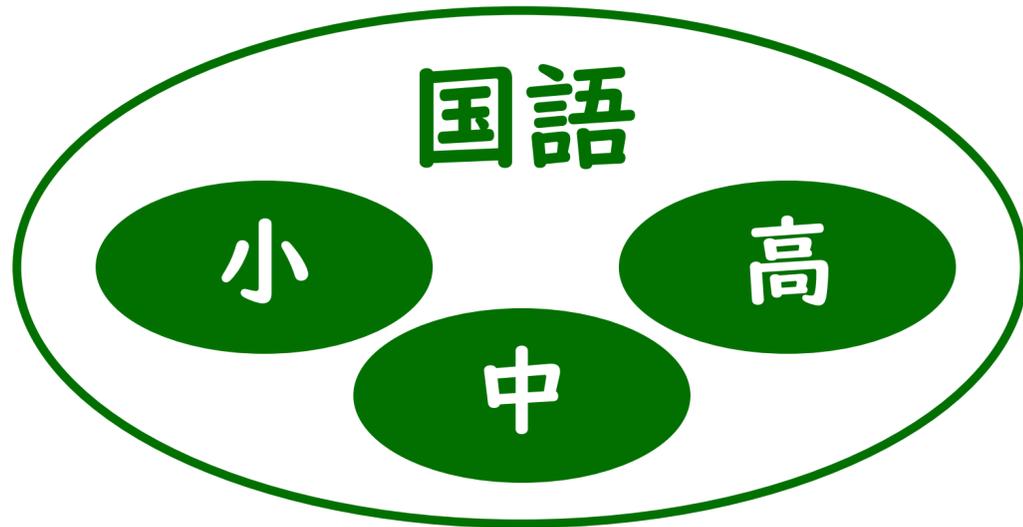
教科領域部会



グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから 目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 地域社会の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学校の人たちと協力して 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 学級の人たちと力を合わせて 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に追究 することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究 することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて取り組みることができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

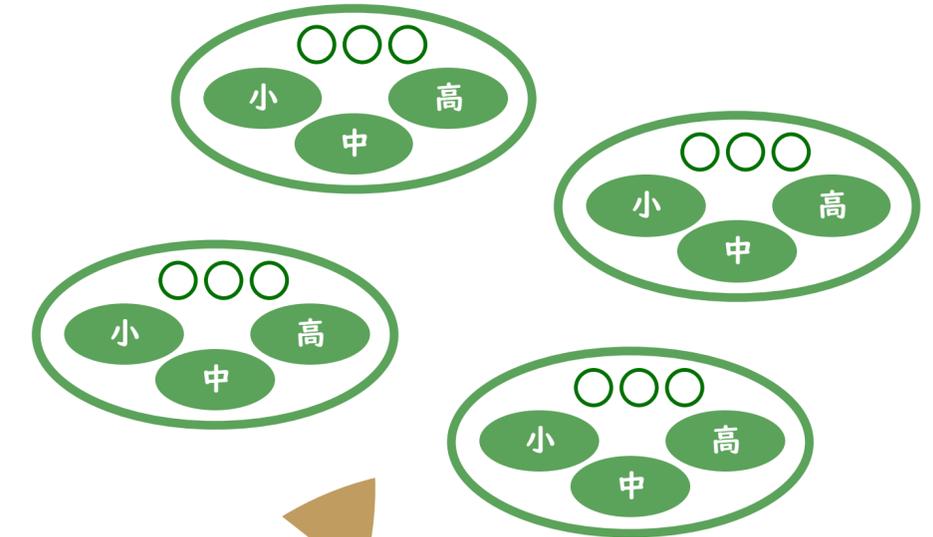
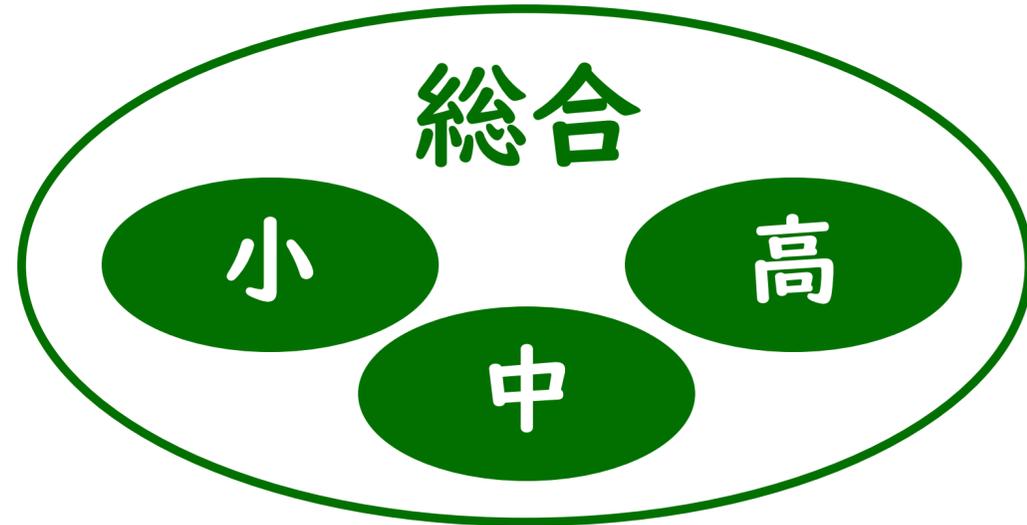
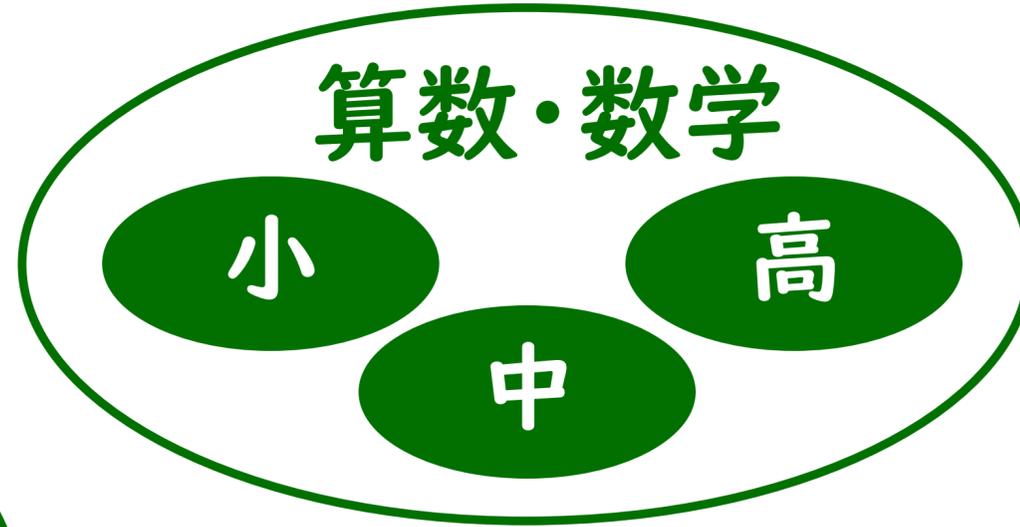
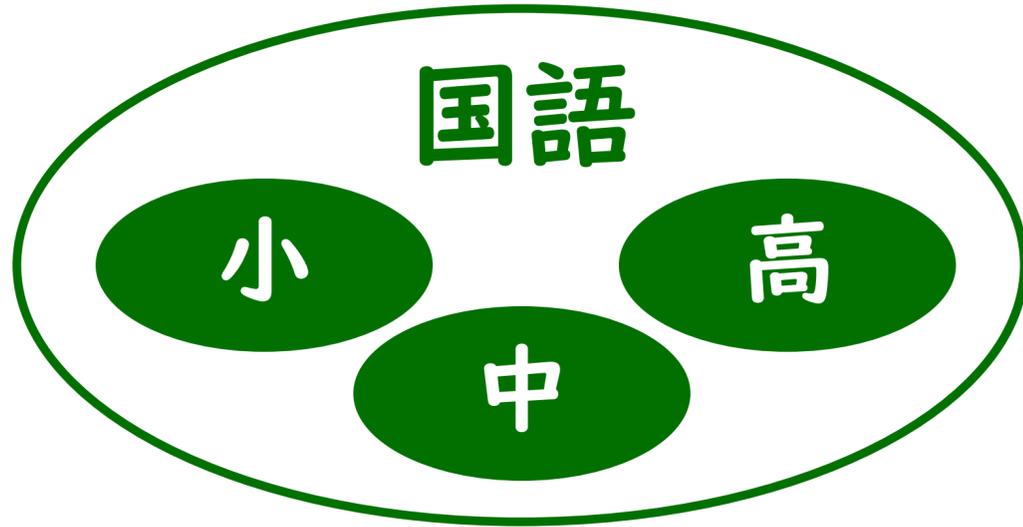
教科領域部会



グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから 目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 地域社会の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学校の人たちと協力して 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 学級の人たちと力を合わせて 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に追究 することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究 することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

教科領域部会



グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと から目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構築・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 地域社会の人たちとの協働を構築・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学校の人たちと協力して 取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、 学級の人たちと力を合わせて 取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に追究 することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら追究 することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから 目標 を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから 目標 を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから 目標 を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと から目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回りの課題 に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと から目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回りの課題 に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

【例：中学校数学】

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと から目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回りの課題 に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

【例：中学校数学】
①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから 目標 を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから 目標 を持ち、その達成に向けて 自主的に 粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから 目標 を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと から目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化圏の人たちの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 グローバル社会を協働的に創造する 資質・能力の育成	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちの協働を構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

- 【例：中学校数学】**
- ①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだことから 目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちの協働を構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、身の回りから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、身の回りの課題に 気づき 、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成

【例：中学校数学】

- ① 項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
- ② ステージの取り出し
→ 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
- ③ 「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる。

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと から目標 を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級のちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身の回り から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返り することができる。	自らの問題として、 身の回り の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

【例：中学校数学】

- ① 項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
- ② ステージの取り出し
→ 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
- ③ 「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる。

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティ や 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ や 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティ や 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身の回りの課題 に気づき、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を進めることができる。

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

【例：小学校高学年修学旅行】

【例：中学校数学】

- ① 項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
- ② ステージの取り出し
→ 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
- ③ 「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる。

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の人たちの協働を 構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の人たちの協働を 構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の人たちの協働を 構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の人たちの協働を 構想・実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、 身近なコミュニティや世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を進めることができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

【例：小学校高学年修学旅行】
①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行

【例：中学校数学】
①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
②ステージの取り出し
→ 「～する力」へと目標を設定
i) ～～する力
ii) ～～する力
③ 「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
i) ～～することができる
ii) ～～することができる。

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の人たちの協働を構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて グローバル社会を協働的に創造する 資質・能力の育成	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級の と合わせて取り組むことができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、 学級の と合わせて取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重しながら相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

- 【例：小学校高学年修学旅行】**
- ①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - iii) ～～する力
 - iv) ～～する力

【例：中学校数学】

- ①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
- ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
- ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる。

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 進んで 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 人たちの協働を 構想・実践 することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、身の周りの課題に 気づき 、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら 相互理解 を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を受け入れ 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢 で接することができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成

- 【例：小学校高学年修学旅行】
- ①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - iii) ～～する力
 - iv) ～～する力
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる
 - iii) ～～することができる
 - iv) ～～することができる

- 【例：中学校数学】
- ①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる。

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く、創造的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に粘り強く 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点 などから目標を持ち、その達成に向けて 自主的に 取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて 創造的に 物事を考え、 ちや異なる文化の 協働を構想・実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや 世界の出来事 から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら、創造的に 追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組み、 振り返りながら 追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に 共感と傾聴 の姿勢で接し、 多様性を尊重 しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考ええに対して 共感の姿勢 で接し、 多様性を受け入れ 相互理解を進めることができる。	他者の意見や考ええに対して 共感の姿勢 で接し、 相互理解 を進めることができる。	他者の意見や考ええに対して 共感の姿勢 で接することができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成

- 【例：小学校高学年修学旅行】
- ①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - iii) ～～する力
 - iv) ～～する力
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる
 - iii) ～～することができる
 - iv) ～～することができる

- 【例：中学校数学】
- ①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる。

グローバル市民 コモン・ループリック

項目	中学校		小学校	
	高等学校	中学校	高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、 新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、 試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと から目標を持ち、その達成に向けて粘り強く取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や学んだこと、 知識を構想・実践することができる。	これまでの経験や学んだこと、 知識を構想・実践することができる。	これまでの経験や学んだこと、 知識を構想・実践することができる。	これまでの経験や学んだこと、 知識を構想・実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身の回りや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、 創造的に追究することができる。	自らの問題として、身の回りや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、 創造的に追究することができる。	自らの問題として、身の回りや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、 創造的に追究することができる。	自らの問題として、身の回りや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、 創造的に追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して 共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。

グローバル社会を協働的に創造する 資質・能力の育成

池田キャンパスがめざす児童・生徒像

【例：小学校高学年修学旅行】

- ①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行
- ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - iii) ～～する力
 - iv) ～～する力
- ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる
 - iii) ～～することができる
 - iv) ～～することができる

【例：中学校数学】

- ①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
- ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
- ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	高学年	小学校	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。

グローバル社会を協働的に創造する 資質・能力の育成

池田キャンパスがめざす児童・生徒像

【例：中学校数学】

- ①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
- ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
- ③「～することができる」へと具体的な内容に整理 (評価規準)
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる。

【例：小学校高学年修学旅行】

- ①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行
- ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - iii) ～～する力
 - iv) ～～する力
- ③「～することができる」へと具体的な内容に整理 (評価規準)
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる
 - III) ～～することができる
 - iv) ～～することができる

グローバル市民 コモン・ループブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて粘り強く取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて粘り強く取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて粘り強く、創造的に取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。

グローバル社会を協働的に創造する 資質・能力の育成

【例：中学校数学】

①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育

②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定

i) ～～する力

ii) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理 (評価規準)

i) ～～することができる

ii) ～～することができる。

【例：小学校高学年修学旅行】

①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つなぐ力」を育む修学旅行

②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定

i) ～～する力

ii) ～～する力

iii) ～～する力

iv) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理 (評価規準)

i) ～～することができる

ii) ～～することができる

iii) ～～することができる

iv) ～～することができる

【例：中学校】

①項目の選択 → 「～する力」へと目標を設定

i) ～～する力

ii) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理 (評価規準)

i) ～～することができる

ii) ～～することができる。

iii) ～～することができる

iv) ～～することができる

i) ～～することができる

ii) ～～することができる。

iii) ～～することができる

iv) ～～することができる

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて粘り強く取り組むことができる。
つながりのある人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて粘り強く取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。

池田キャンパスが
めざす児童・生徒像

**グローバル社会を協働的に創造する
資質・能力の育成**

- 【例：小学校高学年修学旅行】**
- ①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つながり」を育む修学旅行
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - iii) ～～する力
 - iv) ～～する力
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる
 - iii) ～～することができる
 - iv) ～～することができる

- 【例：中学校数学】**
- ①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定
 - i) ～～する力
 - ii) ～～する力
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる

- 【例：中学校数】**
- ①項目の選択
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる

- 【例：中学校】**
- ①項目の選択
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる

- 【例：中学校】**
- ①項目の選択
 - ②ステージの取り出し → 「～する力」
 - ③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）
 - i) ～～することができる
 - ii) ～～することができる

コモン・ループブリックを改善していく

グローバル市民 コモン・ループブリック

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。
つながりのある人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。

グローバル社会を協働的に創造する 資質・能力の育成

池田キャンパスがめざす児童・生徒像

【例：小学校高学年修学旅行】

①項目の選択 → 「主体性」「探究力」「寛容さ」「つながり」を育む修学旅行

②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定

- i) ～～する力
- ii) ～～する力
- iii) ～～する力
- iv) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）

- i) ～～することができる
- ii) ～～することができる
- III) ～～することができる
- iv) ～～することができる

【例：中学校数学】

①項目の選択 → 「探究力」を育む数学教育

②ステージの取り出し → 「～する力」へと目標を設定

- i) ～～する力
- ii) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）

- i) ～～することができる
- ii) ～～することができる。

【例：中学校数】

①項目の選択

②ステージの取り出し → 「～する力」

- i) ～～する力
- ii) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）

- i) ～～することができる
- ii) ～～することができる。

【例：中学校】

①項目の選択

②ステージの取り出し → 「～する力」

- i) ～～する力
- ii) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）

- i) ～～することができる
- ii) ～～することができる。

【例：中学校】

①項目の選択

②ステージの取り出し → 「～する力」

- i) ～～する力
- ii) ～～する力

③「～することができる」へと具体的な内容に整理（評価規準）

- i) ～～することができる
- ii) ～～することができる。

【中学校2年数学】

① 選択項目 → 「探究力のある人」

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、試みの観点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、積極的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの観点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、積極的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの観点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、積極的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見や考えを尊重し、協力を模索し、実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見や考えを尊重し、協力を模索し、実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見や考えを尊重し、協力を模索し、実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、徹底的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、徹底的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、徹底的に追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。

自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

② 学習との関連

単元を通して「地球温暖化は進行しているのか」という問いを解決するべく、「調査報告書」を作成するという課題を設定した。PPDACサイクルを回す中で個人、班で調査を行い、調査から得られた課題を次なる調査へつなげていく授業展開を行う。データを元に調査をする中で課題を発見し、次なる課題を見つけ出すというサイクルを回す。この学習によって生徒の探究力を育みたい。

③ 目標達成するためにつけるべき力

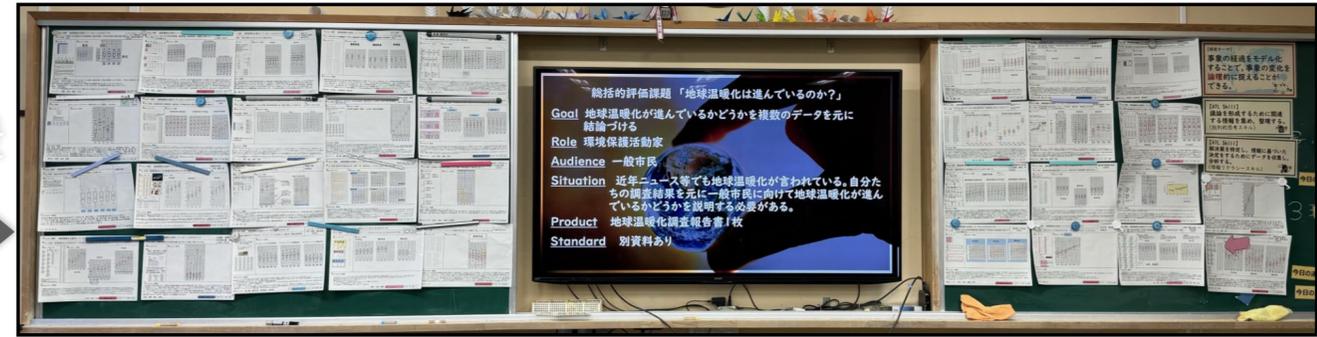
- i) 地球温暖化に関わる要因をデータをもとに調査する力
- ii) PPDACサイクルから得られた課題から次なる課題を見つける力

④ 評価規準の設定

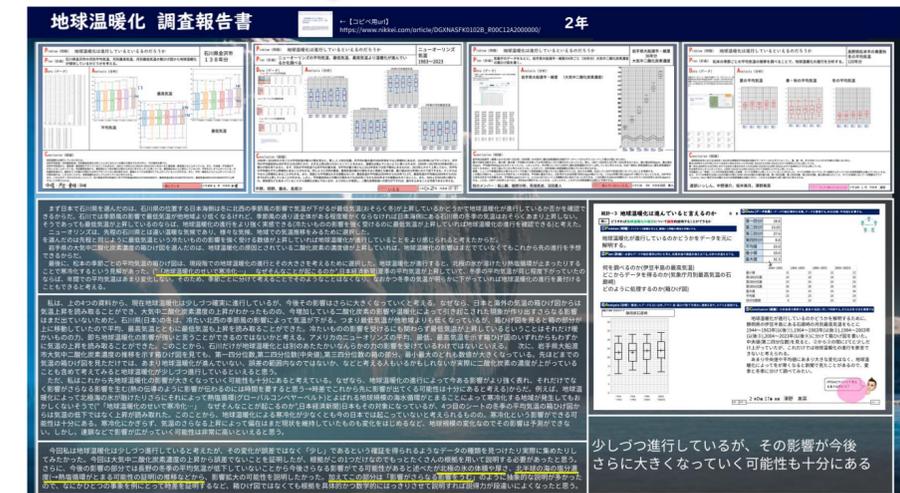
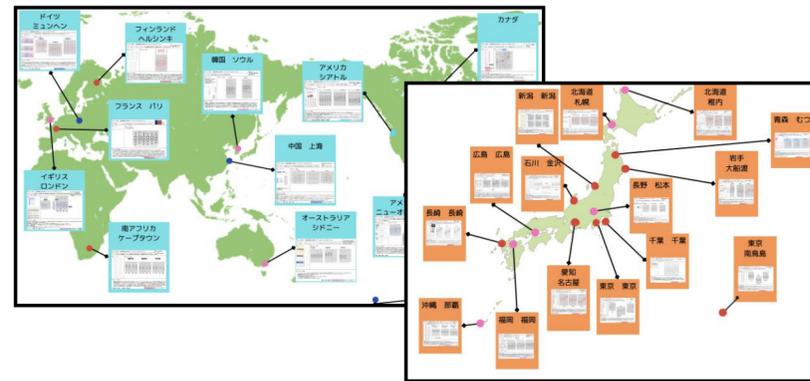
- i) データを処理し、箱ひげ図を用いて温暖化の進行を調査することができる
- ii) PPDACサイクルによって見えてきた課題を言語化し、次なるサイクルですべきことを見出すことができる

● 実践内容

班ごとに地球温暖化に関わる要因を探し出し調査



PPDACサイクルから得られた課題を言語化し、次なるサイクルにつなげるための調査方法を提案する



● 成果と課題

身近な都市の調査から始まり、世界の都市や気温以外の要素に目をむけることができた。また箱ひげ図の活用に至っては年代を揃えることの必要性に対する意見が生徒から出てきた。さらに、地球温暖化との因果関係があるかどうかについて考える必要性にも気づいた。中学段階での探究力のある人の目標に近づくことができた。しかし、自らの問題として初めに課題を見つけ出すという視点においては、教師からの主導になってしまうところがあったため、改善が必要だと感じる。

【中学校2年数学】

① 選択項目 → 「探究力のある人」

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、自分の考えや考え方を、積極的に表現し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の考えや考え方を、積極的に表現し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の考えや考え方を、積極的に表現し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。
つながりをつくる人	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人との関わり合いを通して、課題を解決することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人との関わり合いを通して、課題を解決することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人との関わり合いを通して、課題を解決することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して、自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して、自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して、自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。

自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

② 学習との関連

単元を通して「地球温暖化は進行しているのか」という問いを解決するため、「調査報告書」を作成するという課題を設定した。PPDACサイクルを回す中で個人、班で調査を行い、調査から得られた課題を次なる調査へつなげていく授業展開を行う。データを元に調査をする中で課題を発見し、次なる課題を見つけ出すというサイクルを回す。この学習によって生徒の探究力を育みたい。

ローラーカーブズ

単元前

③ 目標達成するためにつけるべき力

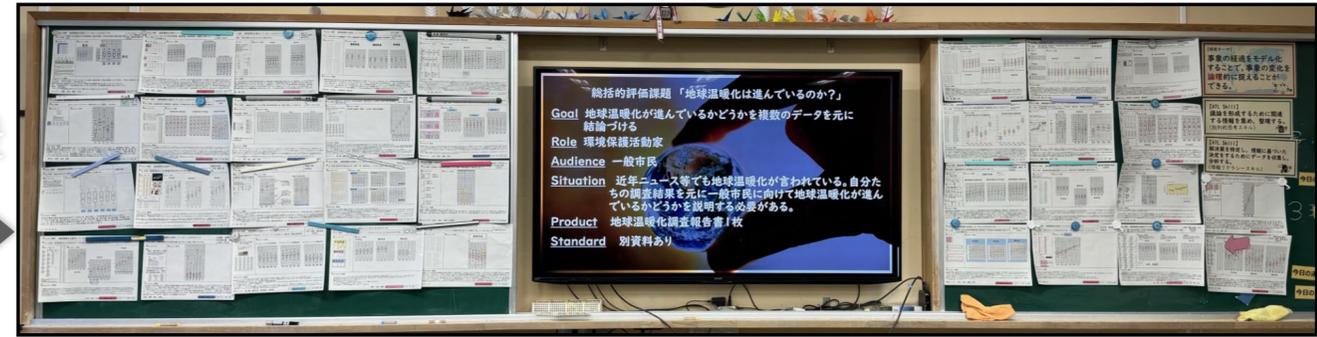
- i) 地球温暖化に関わる要因をデータをもとに調査する力
- ii) PPDACサイクルから得られた課題から次なる課題を見つける力

④ 評価規準の設定

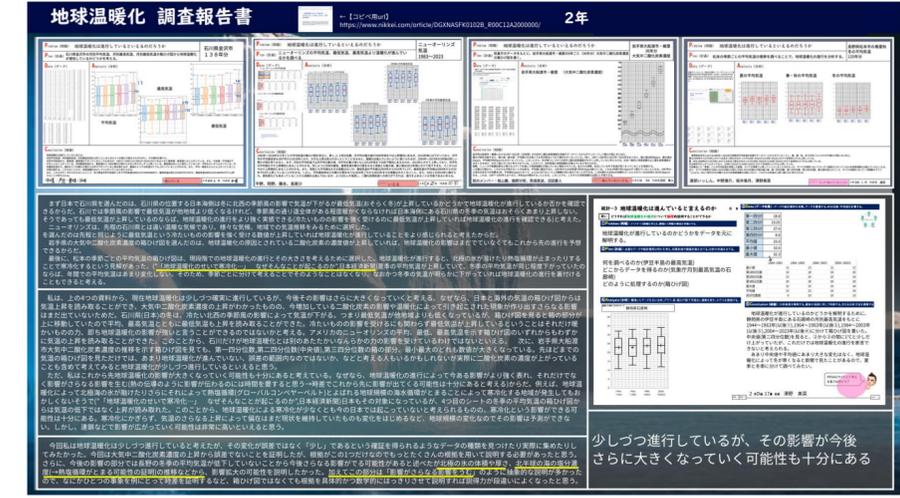
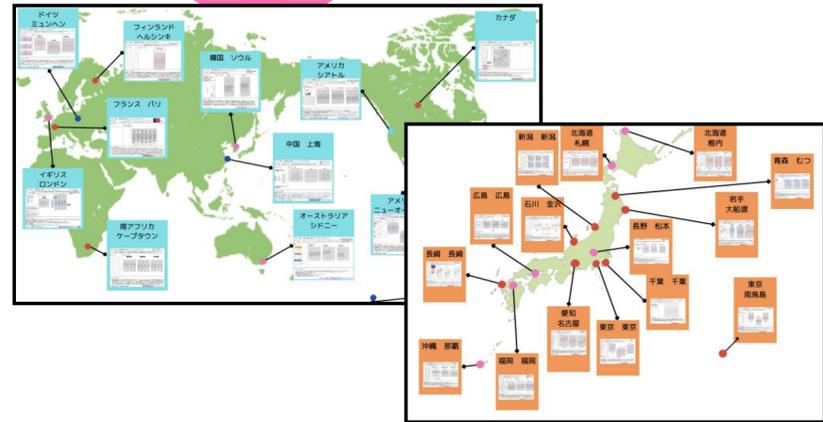
- i) データを処理し、箱ひげ図を用いて温暖化の進行を調査することができる
- ii) PPDACサイクルによって見えてきた課題を言語化し、次なるサイクルですべきことを見出すことができる

● 実践内容

班ごとに地球温暖化に関わる要因を探し出し調査



PPDACサイクルから得られた課題を言語化し、次なるサイクルにつなげるための調査方法を提案する



● 成果と課題

身近な都市の調査から始まり、世界の都市や気温以外の要素に目をむけることができた。また箱ひげ図の活用に至っては年代を揃えることの必要性に対する意見が生徒から出てきた。さらに、地球温暖化との因果関係があるかどうかについて考える必要性にも気づいた。中学段階での探究力のある人の目標に近づくことができた。しかし、自らの問題として初めに課題を見つけ出すという視点においては、教師からの主導になってしまうところがあったため、改善が必要だと感じる。

【中学校2年数学】

① 選択項目 → 「探究力のある人」

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、自分の考えなどから目標を設定し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の考えなどから目標を設定し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の考えなどから目標を設定し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて新たな問いや課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら継続的に探究することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて新たな問いや課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら継続的に探究することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて新たな問いや課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら継続的に探究することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら継続的に探究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら継続的に探究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら継続的に探究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。

自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

② 学習との関連

単元を通して「地球温暖化は進行しているのか」という問いを解決するため、「調査報告書」を作成するという課題を設定した。PPDACサイクルを回す中で個人、班で調査を行い、調査から得られた課題を次なる調査へつなげていく授業展開を行う。データを元に調査をする中で課題を発見し、次なる課題を見つけ出すというサイクルを回す。この学習によって生徒の探究力を育みたい。

ローラーライズ 単元前

③ 目標達成するためにつけるべき力

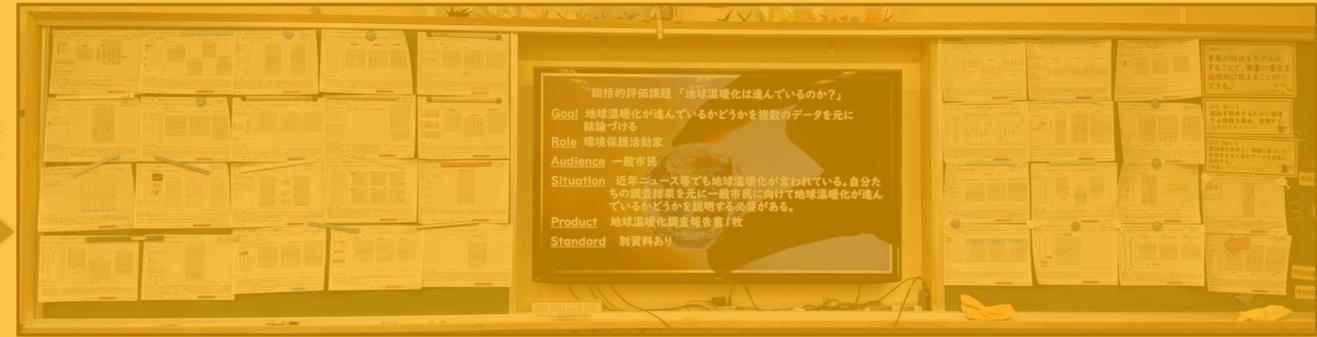
- i) 地球温暖化に関わる要因をデータをもとに調査する力
- ii) PPDACサイクルから得られた課題から次なる課題を見つける力

④ 評価規準の設定

- i) データを処理し、箱ひげ図を用いて温暖化の進行を調査することができる
- ii) PPDACサイクルによって見えてきた課題を言語化し、次なるサイクルですべきことを見出すことができる

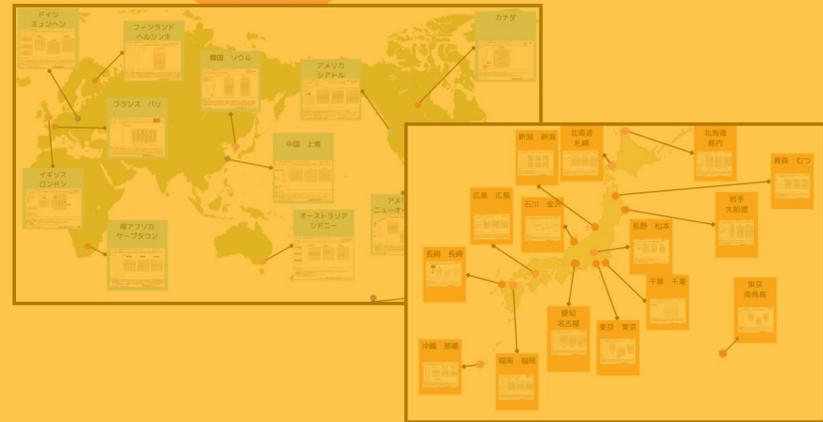
● 実践内容

班ごとに地球温暖化に関わる要因を探し出し調査



PPDACサイクルから得られた課題を言語化し、次なる調査方法を提案する

実践内容



● 成果と課題

身近な都市の調査から始まり、世界の都市や気温以外の要素に目をむけることができた。また箱ひげ図の活用に至っては年代を揃えることの必要性に対する意見が生徒から出てきた。さらに、地球温暖化との因果関係があるかどうかについて考える必要性にも気づいた。中学段階での探究力のある人の目標に近づくことができた。しかし、自らの問題として初めに課題を見つけ出すという視点においては、教師からの主導になってしまうところがあったため、改善が必要だと感じる。

【中学校2年数学】

① 選択項目 → 「探究力のある人」

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	小学校
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、自分の考えなどから目標を設定し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の考えなどから目標を設定し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の考えなどから目標を設定し、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて新しい物事を考え、周りの人との協力を得ながら、課題を解決し、達成することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて新しい物事を考え、周りの人との協力を得ながら、課題を解決し、達成することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて新しい物事を考え、周りの人との協力を得ながら、課題を解決し、達成することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して自分の意見や考えを押し付けず、相互理解を深めることができる。

自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

② 学習との関連

単元を通して「地球温暖化は進行しているのか」という問いを解決するため、「調査報告書」を作成するという課題を設定した。PPDACサイクルを回す中で個人、班で調査を行い、調査から得られた課題を次なる調査へつなげていく授業展開を行う。データを元に調査をする中で課題を発見し、次なる課題を見つけ出すというサイクルを回す。この学習によって生徒の探究力を育みたい。

ローカライズ 単元前

③ 目標達成するためにつけるべき力

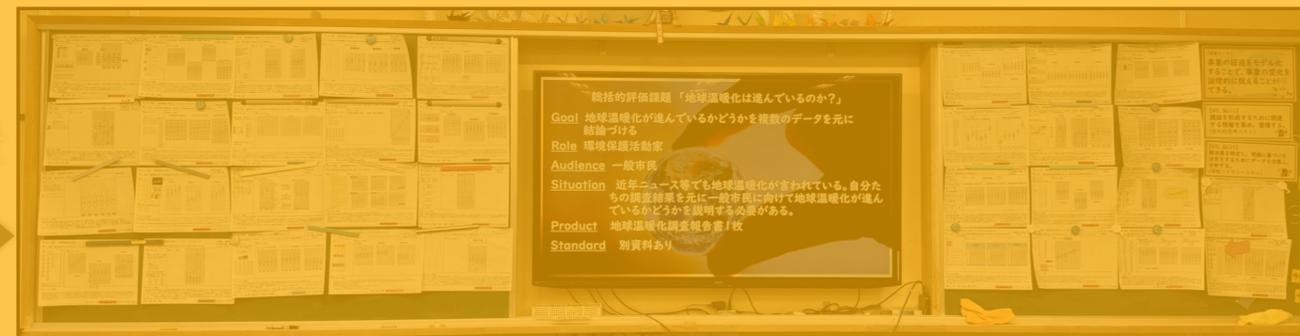
- i) 地球温暖化に関わる要因をデータをもとに調査する力
- ii) PPDACサイクルから得られた課題から次なる課題を見つける力

④ 評価規準の設定

- i) データを処理し、箱ひげ図を用いて温暖化の進行を調査することができる
- ii) PPDACサイクルによって見えてきた課題を言語化し、次なるサイクルですべきことを見出すことができる

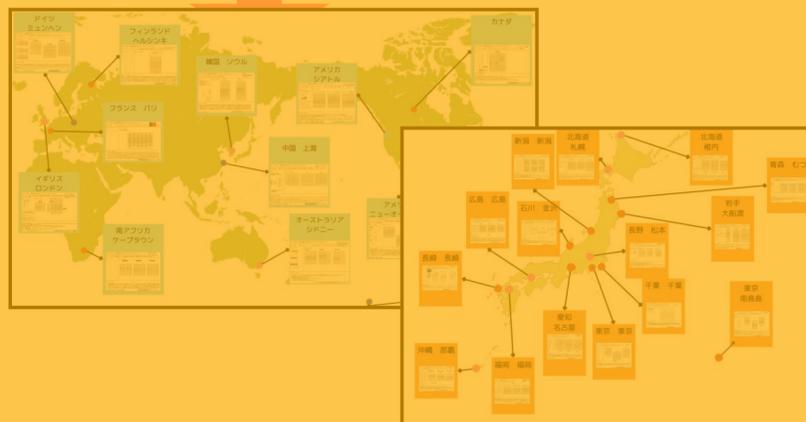
● 実践内容

班ごとに地球温暖化に関わる要因を探し出し調査



PPDACサイクルから得られた課題を言語化し、次なる調査方法を提案する

実践内容



● 成果と課題

ローカライズの成果と課題

身近な都市の調査から始まり、世界の都市や気候以外の要素に目を向け、探究することができた。また、探究活動を通じて、気候変動に対する意識が、生徒だけでなく、教師や保護者にも広がった。探究活動を通じて、気候変動に対する意識が、生徒だけでなく、教師や保護者にも広がった。探究活動を通じて、気候変動に対する意識が、生徒だけでなく、教師や保護者にも広がった。

【小学校6年 道徳科】

① 選択項目 → 「つなぐ力のある人」

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人々と異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、地域社会の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、学校の人たちと協力して取り組むことができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、学校の人たちと協力して取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返ることができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組み、振り返ることができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。

これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、**学校の人たちと協力して取り組むことができる。**

② 学習との関連

物語で描かれている「身勝手な行為」は、他教材でも同様に描かれている。しかし、その意味は置かれている状況や人間関係によって様々である。そこで、教材と教材の配置を考え学びのつながりが生まれるようユニットを組む。

子ども自身が道徳的事象をつなげ、比較することで新たな価値観を育むことができるようになる。

③ 目標達成するためにつけるべき力

- i) 過去の教材と比較しながら事象を捉える力
- ii) 道徳的事象のつながりから新たな価値を見出す力

④ 評価規準の設定

- i) 身勝手な行為に対して、様々な事象とつなげながら寛容な心を考えることができる。

● 実践内容

学習環境の整備

5/2 6年生の責任って？

5/17 自由という名の席

5/22 星野君の二るい打

6/7 七十八円の命

動物や人にとっての幸せを
考えることが命を考えること

安楽死について
命を簡単に選べない
それぞれの命がある

子ども達がこれまでの学びをつなげて考えることができるよう、板書に1時間の話題をまとめたものを掲示する。

事象の関連から教材を選定

星野君の二るい打
(よりよい学校生活, 集団生活の充実)

ブランコ乗りとピエロ
(相互理解, 寛容)

【1時間目】

同じ「身勝手」だが、置かれている状況や人間関係の違いがある教材を2時間続きで設定する。

【2時間目】

ブランコ乗りとピエロの物語を読み終えると、子どもから「星野君の身勝手は許せる。けど、サムの子は許せない。なぜピエロを許せたのか？」という問いが生まれた。子どもが事象をつなげ、その心の違いに気づく姿が見られた。同じ身勝手だがその真意は異なり、それを許す心も「集団のことを考える心」と「相手の成長を応援する心」という違いについて議論する姿が見られた。

● 成果と課題

1時間で学びが完結しやすい道徳科であるが、子供たちは道徳科特有の事象に対する心の学びを関連付けることで重層的に考えることができた。この事象の関連性を子ども達が他教材でも見出すことができるよう継続的に実践する必要がある。

【中学校2年数学】

① 選択項目 → 「探究力のある人」

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校		中学校		小学校	
	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、自分の視点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の視点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の視点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の視点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の視点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、自分の視点などから目標を持ち、その達成に向けて主体的に努力し、創造的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちの意見を尊重し、実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見を尊重し、実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見を尊重し、実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見を尊重し、実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見を尊重し、実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、周りの人たちの意見を尊重し、実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を進めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を進めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を進めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を進めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を進めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を進めることができる。

自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

② 学習との関連

単元を通して「地球温暖化は進行しているのか」という問いを解決するべく、「調査報告書」を作成するという課題を設定した。PPDACサイクルを回す中で個人、班で調査を行い、調査から得られた課題を次なる調査へつなげていく授業展開を行う。データを元に調査をする中で課題を発見し、次なる課題を見つけ出すというサイクルを回す。この学習によって生徒の探究力を育みたい。

③ 目標達成するためにつけるべき力

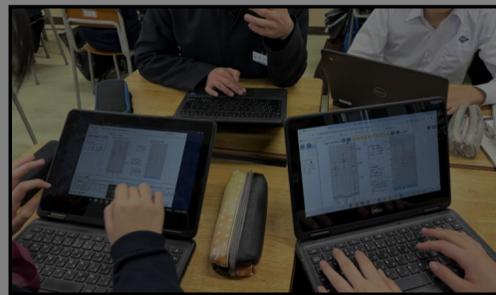
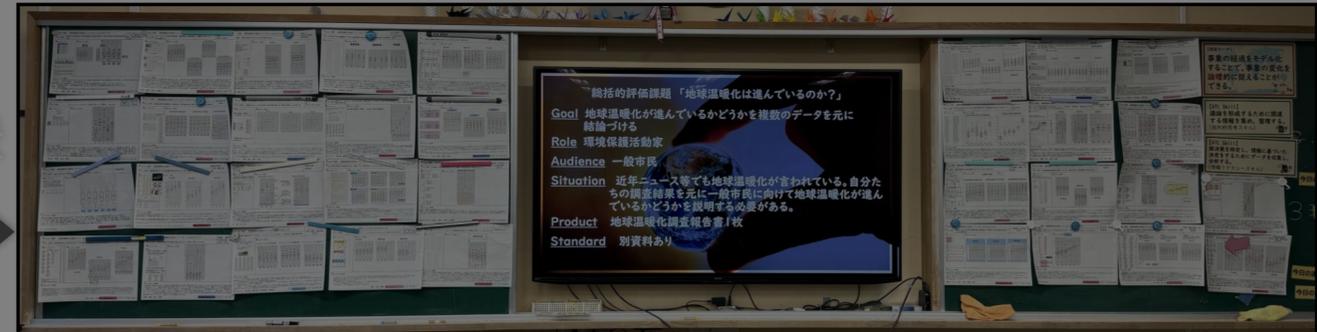
- i) 地球温暖化に関わる要因をデータをもとに調査する力
- ii) PPDACサイクルから得られた課題から次なる課題を見つける力

④ 評価規準の設定

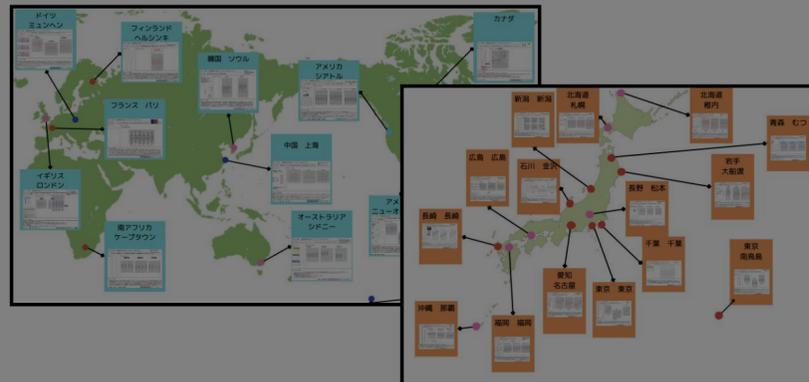
- i) データを処理し、箱ひげ図を用いて温暖化の進行を調査することができる
- ii) PPDACサイクルによって見えてきた課題を言語化し次なるサイクルで見出すことができる

● 実践内容

班ごとに地球温暖化に関わる要因を探し出し調査



PPDACサイクルから得られた課題を言語化し、次なるサイクルにつなげるための調査方法を提案する



● 成果と課題

身近な都市の調査から始まり、世界の都市や気温以外の要素に目をむけることができた。また箱ひげ図の活用に至っては年代を揃えることの必要性に対する意見が生徒から出てきた。さらに、地球温暖化との因果関係があるかどうかについて考える必要性にも気づいた。中学段階での探究力のある人の目標に近づくことができた。しかし、自らの問題として初めに課題を見つけ出すという視点においては、教師からの主導になってしまうところがあったため、改善が必要だと感じる。

【中学校1年社会】

① 選択項目 → 「主体的な人」

グローバル市民 コモン・ルーブリック

項目	高等学校	中学校	高等学校	小学校
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新しい試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。
つながりのある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちの異なる文化価値の人々との協働を構築・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、地域社会の人々との協働を構築・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、学校の人々との協働を構築・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、学校の人々との協働を構築・実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身の回りの課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。
寛容な人	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で話し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で話し、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で話し、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考え方に對して共感の姿勢で話し、相互理解を深めることができる。

これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。

② 学習との関連

単元を通して「社会課題の解決にはどのようなネットワークを形成すべきか」という問いについて考えた。課題として日本とアメリカの姉妹都市（丹波市・ケント市・オーバン市）ネットワークを分析し、今後の発展につながるような新たな提案をする課題を与え、丹波市の中学校と交流を行い、学習を深めた。そこで日本とアメリカの社会課題を比較し、共通点や相違点をあげさせた。その後持続可能なネットワークを築くことで、社会課題を解決することはできるのかについて学習を振り返り、自身の考えを整理させた。

③ 目標達成するためにつけるべき力

- i) 社会課題を分析し、学習した内容や自身の経験などとの関連性を用いて課題を捉え、解決する力
- ii) 自己の考えを振り返り、自身の考えを整理する力

④ 評価規準の設定

- i) 姉妹都市ネットワークにおける課題を分析し、学習した内容や自身の経験などを用いて、解決策を提案することができる。
- ii) 「社会課題の解決にはどのようなネットワークを形成すべきか」について学習を振り返り、自身の考えを整理することができる。

● 実践内容

オーバン市の強み・課題点

強み
 ・人口がワシントン州の中の順位でも上位である
 ・個人取得の中央値が年々上がってきている（2020年はコロナの影響で大幅にへっている）
 ・就業者の数が年々増えている（2020年はコロナの影響で減っている）
 ・労働力人口が増えている

課題点
 ・失業率が高い
 ・犯罪件数が多い
 ・人口が増えてきたものの減少傾向にある
 ・貧困線以下で生活している人がいる

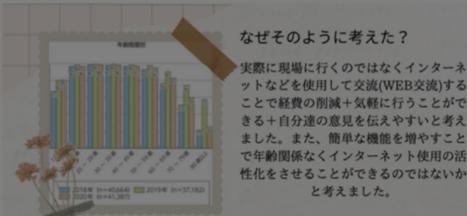


これからの姉妹都市連携について

～丹波市～
 飲食店で使用できる**自然な食品** ⇄ **最先端技術**を使用した製品
 （栗や黒豆など） (ITなど)

お互いの経済発展が期待できる

〈20年後の姉妹都市連携は...〉
 オーバン市、ケント市・丹波市の食品を使った料理などが提供されている
 丹波市...最新技術を用いた製品の作成などで経済が活発な状態



- 3市が発展するための政策提案
- 1週間1回くらいの程度でインターネットで交流会を開く
 - それぞれの国の伝統やいい所を主張し合う(理解し合う)。
 - 気になる点やいい場所をインターネットで調べて見る。

なぜそのように考えた？
 実際に現場に行くのではなくインターネットなどを使用して交流(WEB交流)することで経費の削減+気軽に行うことができる+自分達の意見を伝えやすいと考えました。また、簡単な機能を増やすことで年齢関係なくインターネット使用の活性化をさせることができるのではないかと考えました。



20年後のケント市の様子

助け合える関係が築けたらいいと思います。3つの都市の良い部分を活かして、苦手な部分を補うことができたらいとお考えます。苦手な部分や得意な部分を知るために、インターネットを積極的に使うことが大事だと思います。また留学生なども積極的に受け入れることで多少助け合いの心がけることができますと思います。人員不足などで材料不足のときに協力して貧富の差などもなくせたらいいとお考えます。

my slide 1-1 Makikusa ayaha

それぞれの都市の分析を行う

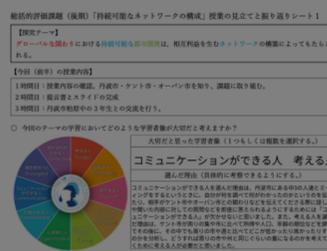


交換留学生制度の助成

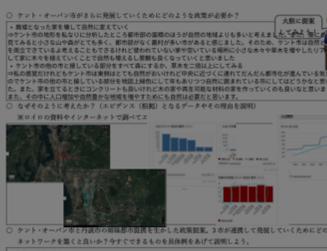
- 交換留学をしたくても...
- ・行くための費用が高い
- ・言語などが分からず不安
- 意欲があっても不安で応募できない欠点が...

費用の助成や希望者への言語学習サポートがあれば、生徒が積極的に参加することができます！
 →都市間での交流が盛んになり、国際的なネットワークのある都市に！

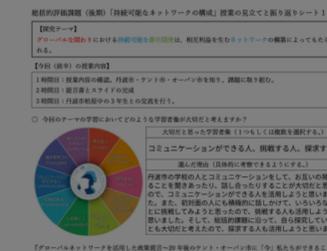
姉妹都市提携の提案を行う



『オーバン市ネットワークを活用した実業団100年間のケント・オーバンに「今」私たちができること』
 ケント市・オーバンの姉妹都市ネットワークを築くこと
 ケント市は、人口が年々増えてきていて(2020年)増加している
 ケント市の自然環境は素晴らしい(2020年)増加している
 ケント市の生活水準は高い(2020年)増加している
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある



『オーバン市ネットワークを活用した実業団100年間のケント・オーバンに「今」私たちができること』
 ケント市・オーバンの姉妹都市ネットワークを築くこと
 ケント市は、人口が年々増えてきていて(2020年)増加している
 ケント市の自然環境は素晴らしい(2020年)増加している
 ケント市の生活水準は高い(2020年)増加している
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある



『オーバン市ネットワークを活用した実業団100年間のケント・オーバンに「今」私たちができること』
 ケント市・オーバンの姉妹都市ネットワークを築くこと
 ケント市は、人口が年々増えてきていて(2020年)増加している
 ケント市の自然環境は素晴らしい(2020年)増加している
 ケント市の生活水準は高い(2020年)増加している
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある



『オーバン市ネットワークを活用した実業団100年間のケント・オーバンに「今」私たちができること』
 ケント市・オーバンの姉妹都市ネットワークを築くこと
 ケント市は、人口が年々増えてきていて(2020年)増加している
 ケント市の自然環境は素晴らしい(2020年)増加している
 ケント市の生活水準は高い(2020年)増加している
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある
 ケント市には多くの観光地がある

● 成果と課題

学習を進めるなかで、ネットワークを構成することの意義や他の地域でも同じようなネットワークを構成すれば解決できる課題もあるのではないかと考えを持ち始めた。今後はネットワークを構成するメリットやデメリットがなぜ生じるのかについても考えていく。

【中学校2年社会】

① 選択項目 → 「探究力のある人」

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、地域社会の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、学校の人たちと協力して取り組むことができる。	これまでの経験や知識をもとに物事を考え、学級の人たちと力を合わせて取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。	自らの問題として、身の回りのことから課題を見出し、その解決に向けて取り組むことができる。	自らの問題として、身の回りのことから課題を見出し、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を尊重し、相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。

自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら追究することができる。

② 学習との関連

単元を通して、「大阪IRは、本当に関西地域や日本を発展させることにつながるのか」という問いを設定し、多角的に調査し、討論をする展開を行った。地域の将来像を構想することで、探究力を育むねらいがある。

③ 目標達成するためにつけるべき力

- i) 情報リテラシースキル
解決策を特定し、情報に基づいた決定をするために、データを収集し、分析する。
- ii) 批判的思考スキル
さまざまな解決策を提案し、評価する。

④ 評価規準の設定

- i) 大阪IRに賛成・反対の双方の根拠となる資料、データを収集し、比較して分析している。
- ii) 経済、産業の歴史、人口、立地、交通、人間関係などさまざまな視点から解決策を評価している。

● 実践内容

時間	学習内容
1	学習課題について、見通しと予測を立てる
2	①近畿地方では地形や気候にどのような特色が見られるのか
6	②阪神工業地帯は、どのように発展してきたのか ③近畿地方の交通網は、どのようにひろがってきたのか ④近畿地方の観光業は、どのように発展してきたのか
7～10	①市民からの反対の声が上がっているにもかかわらず、なぜ大阪IRをつくらうとしているのか ②大阪IRは、本当に関西地域や日本を発展させることにつながるのか、について解決策を構想する。 ③2025年以降、産業を維持・発展させていくために、どのような取り組みを行うとよいのか

● 成果と課題

生徒たちは、さまざまな情報源を活用するきっかけになった。書籍に掲載されている資料を解釈したり、海外の事例について、日本に適応するとどうなるかなど多角的に考察を深めることができた。テレビや新聞、インターネットの情報に対して、批判的に捉えることができた。課題としては、社会課題を切実感をもって認識する工夫を授業にどのように取り入れていくかである。解決の一つとして、生徒自身が役割を演じることがあげられる。

経済効果はなく、＋－ゼロ 「消費の場所が変わるだけ」

アメリカのニューハンプシャー州	南部	北部
カジノ来場者数	141万人	5万人
州の純税収	1億4800万ドル	630万ドル
総社会費用	6000万ドル	950万ドル
純税収-総社会費用	8800万ドル	-320万ドル

生徒作成のスライド「ゼロサム思考について」

経済に対する影響

経済に対する影響

地域への経済効果…	経済波及効果	建設時：約1兆5,800億円 開業後：約1兆1,400億円/年
「建設時」	雇用創出効果	建設時：約11.6万人 開業後：約9.3万人
約1兆5800億円&約11.6万人の雇用		
近畿圏での調達額…1兆700億円		
「開業後」		
開業後も毎年1兆1400億円&約9.3万人の雇用		
近畿圏での調達額…2600億円		

生徒作成のスライド「大阪IRの経済効果」

【高校2年 国語 × グローバル探究】

① 選択項目 → 「つなぐ力のある人」

項目	高等学校	中学校	高等学校	小学校
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな視点や考えから目標を定め、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、新たな視点や考えから目標を定め、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、新たな視点や考えから目標を定め、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、新たな視点や考えから目標を定め、その達成に向けて主体的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、多角的に課題を捉え、その解決に向けて取り組み、深い理解を達成することができる。	自らの問題として、多角的に課題を捉え、その解決に向けて取り組み、深い理解を達成することができる。	自らの問題として、多角的に課題を捉え、その解決に向けて取り組み、深い理解を達成することができる。	自らの問題として、多角的に課題を捉え、その解決に向けて取り組み、深い理解を達成することができる。
実質的な人	他者の意見や考えに対して、自分の姿勢で話し、多様な意見を受け入れ、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して、自分の姿勢で話し、多様な意見を受け入れ、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して、自分の姿勢で話し、多様な意見を受け入れ、相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して、自分の姿勢で話し、多様な意見を受け入れ、相互理解を深めることができる。

これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。

② 学習との関連

グローバル探究で学習した文献調査に関する知識・技能を、国語の授業でも活用することで、知識・技能の定着をはかる。さらに、国語の授業で現地調査・レポート作成・相互鑑賞を経験することで得た知見を、今後のグローバル探究における探究活動に活かす。このようにして、教科横断的な学びを育むことを目指す。

③ 目標達成するためにつけるべき力

- i) 情報を適切に収集する力
- ii) 収集した情報を適切に文章表現する力

④ 評価規準の設定

- i) 既習の文献調査法を用いて、信頼性の高い文献から、必要な情報を収集することができる。
- ii) 既習のとおり、適切な出典表記ができる。また、文献調査から得た知見と現地調査で得た知見とを、区別化して文章表現することができる。

● 実践内容

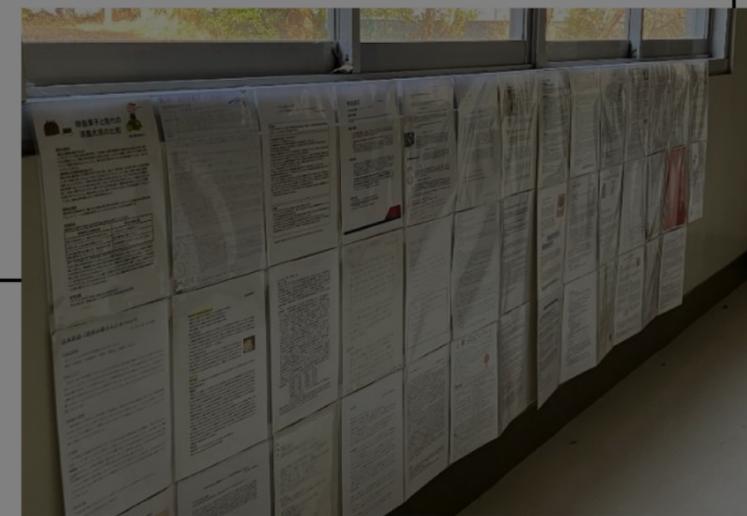
グローバル探究
文献調査の手法・出典表記法のレクチャー

国語 夏休み課題「古典散策レポート」
古典文学に関連が深い場所・展覧会・行事等を訪れて、レポートにまとめる。
文献調査と現地調査の両方が必須条件。

↓
鑑賞と相互評価(クラス内・学年内)

↓
自己評価とふりかえり

グローバル探究
現地調査法のレクチャー、現地調査実施



● 成果と課題

生徒同士で不十分な点を発見・指摘させることで、文献調査に関する知識・技能の定着をはかることができた。しかし、文献調査と現地調査で得た知見を区別して文章化することが出来ていない生徒が多かったため、様々な機会を繰り返し練習させていくことが必要である。
経験や知識につなぐ力を持たせ、総合的な探究の時間だけでは習得しきれない知識・技能の定着や深化を支援していけるように、教科連携したカリキュラム設計の拡充が求められる。

【高校2年 グローバル探究】

① 選択項目 → 「主体的な人・つなぐ力のある人・探究力のある人」

項目	高等学校	中学校	小学校
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人たちや異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に追究することができる。
実質的な人	自身の意見や考えに対して、積極的に姿勢で話し、多様な意見を聞きながら協働を進めることができる。	自身の意見や考えに対して、積極的に姿勢で話し、多様な意見を聞きながら協働を進めることができる。	自身の意見や考えに対して、積極的に姿勢で話し、多様な意見を聞きながら協働を進めることができる。

これまでの経験や学んだこと、**新たな試みの視点**などから**目標**を持ち、その達成に向けて**自主的に粘り強く**、**創造的に**取り組むことができる。

これまでの経験や知識を関連づけて**創造的に**物事を考え、周りの人たちや**異なる文化圏の人たち**との**協働**を**構想・実践**することができる。

自らの問題として、**身近なコミュニティ**や**世界の出来事**から課題を見出し、その解決に向けて**取り組み**、**振り返りながら**、**創造的に**追究することができる。

② 学習との関連

よりよい社会の創造に貢献するために、様々なつながりを大切にして、主体的に探究する力を育むことを目指す。

③ 目標達成するためにつけるべき力

- i) 社会の諸問題について主体的に考える力
- ii) 1年次の学びを2年次の探究活動に活かす力

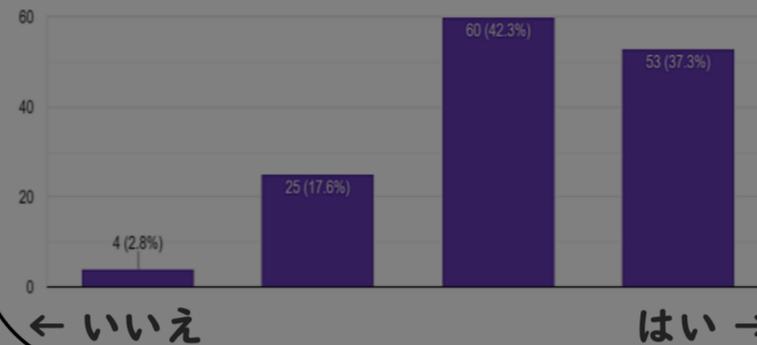
④ 個人内評価

- i) 身近なところや世界で起きている諸問題について、自らの問題として主体的に考えることができる。
- ii) 1年生で学んだ課題研究の方法(例:仮説の立て方・情報の集め方、調査実験結果のまとめ、研究倫理など)を、2年生での探究活動に活かすことができる。

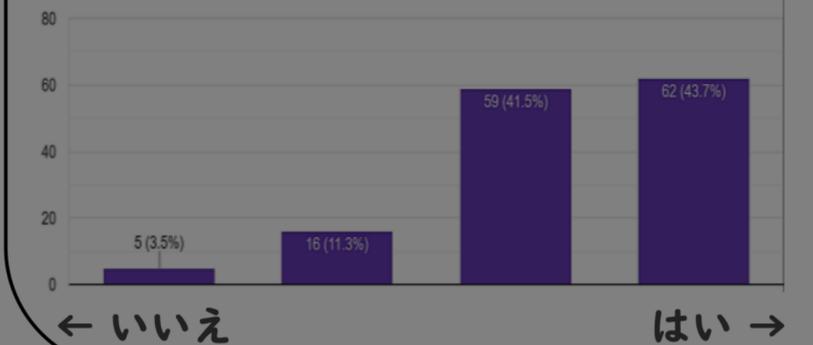
● 実践内容

2年生 授業最終回でふりかえりアンケートを実施 (そのうち一部を抜粋)

Q.皆さんは「よりよい社会の創造に貢献する」ことを目標に、探究活動を続けてきました。**身近なところや世界で起きている諸問題について、自らの問題として主体的に考える**ことができましたか?



Q.昨年度の「グローバル探究Ⅰ」(1年生)では、課題研究の方法について学びました(例:仮説の立て方……)。**1年生での学びを、2年生での探究活動に活かす**ことができましたと思いますか?



● 成果と課題

1年次に学んだことを活かした生徒が約85%、社会の諸問題を自らの問題として捉えて主体的に探究活動を行うことができた生徒が約80%であった。「グローバル市民」コモンルーブリックは、成績評価のための評価規準として用いるだけでなく、生徒の個人内評価の指標としても活用できるのではないかと。なお、本質問項目は2022年度の質問項目を踏襲したものであり、コモンルーブリックの4つの項目に意図的に合わせて作成したものではない。今後、「寛容」に関する質問項目も取り入れられるよう検討したい。

【校種 学年 教科】

①選択項目→「 つなぐ力のある人 」

項目	高等学校	中学校	小学校	
			高学年	低学年
主体的な人	これまでの経験や学んだこと、新たな試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く、創造的に取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。	これまでの経験や学んだこと、試みの視点などから目標を持ち、その達成に向けて自主的に粘り強く取り組むことができる。
つなぐ力のある人	これまでの経験や知識を関連づけて創造的に物事を考え、周りの人や異なる文化圏の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、地域社会の人たちとの協働を構想・実践することができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、学校の人たちと協力して取り組むことができる。	これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、身近の人たちと力を合わせて取り組むことができる。
探究力のある人	自らの問題として、身近なコミュニティや世界の出来事から課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら、創造的に進捗することができる。	自らの問題として、身近なコミュニティから課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返りながら進捗することができる。	自らの問題として、身の回りの課題を見出し、その解決に向けて取り組み、振り返ることができる。	自らの問題として、身の回りの課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。
寛容な人	他者の意見や考えに対して共感と傾聴の姿勢で接し、多様性を尊重しながら相互理解を深めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、多様性を受け入れ相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接し、相互理解を進めることができる。	他者の意見や考えに対して共感の姿勢で接することができる。

これまでの経験や知識を関連づけて物事を考え、地域社会の人たちとの協働を構想・実践することができる。

②学習との関連

宿泊研修を通して、神戸という街を題材に探究テーマを立て、個人、班で調査し、報告書にまとめて発表をするという探究の過程を行う。この学習によって生徒のつなぐ力を育みたい。

③目標達成するためにつけるべき力

- 1) 神戸という街を題材にグローバルの文脈をもとに、探究のテーマを設定する力。
- 2) 探究の過程をどのように行なっていくのか見通す力。人と人を繋げる、人とのつながり、他の小学校から来た人たちとのつながり。

④評価規準の設定

- 1) グローバルな文脈に沿って探究のテーマを設定することができる。
- 2) 探究の過程が問いをたて、調査し、計画、行動、まとめるという一連の流れでできていることがわかる。

●実践内容



神戸研修事前学習 第2回

神戸研修のまとめ

神戸研修

探究のサイクル振り返り

1.事前調べ、FWの調査結果
トピック：(神戸空港をつくるにあたっての苦勞)
山から須磨海岸までベルトコンベアを造り、そこから船で神戸空港島を作るための東京ドーム73個分にのぼる約9,000万トンの土を効率的に運んだ。
トピック：(神戸空港の開港に対しての住民の思い)
神戸空港にお金を使うのではなく、復興にお金を使ってほしいという反対の声が多かったが、復興が進むにつれて街の発展を願う人が増え、神戸空港の開港に賛成する人が増えた。

1.事前調べ、FWの調査結果
トピック：(阪神・淡路大震災からの復興について)
全国各地からさまざまな形の支援が行われ、救援物資や義援金の提供だけでなく、ボランティア活動や他地域の企業の職員が現地入りしてインフラの復旧支援を行った。
トピック：(神戸空港ができた後の発展)
神戸の都市経済は開港以来の貿易の発展に支えられており、現在の神戸の発展は神戸空港の存在に大きく影響されている。

2.調査結果の考察
トピック：(仮説の検証、探究の問いに対する自分の答え)
住民は最初、神戸空港の建設よりも急を要する復興にお金をかける事を願っていた。それらの声がありながらも、そして建設に長い期間と多額な費用をかけてまでも神戸空港を建設したが、結果的にそれが神戸の街の活性化(復興)につながったという事がわかった。だから、神戸空港をこの時期に造る必要は十分あったと思う。
新たな問い(もっと深く知りたいこと)
神戸空港建設を促した人達は、神戸空港建設が街の活性化につながると予想していたのだろうか。

3.振り返り
トピック：(探究の問いにきちんとつながったので、適切であった。)
そうであったと思う。なぜなら、探究の問いに関連して阪神淡路大震災についても深く考えたり、大震災からの復興は目先の事だけではなく遠い将来の事を見据えて考えることでもあると気が付いたりしたからだ。

●成果と課題

1年生では、宿泊研修で神戸へ学習に行く。総合的な学習の時間で身近な神戸の街について探究のテーマを設定し、事前学習や神戸FWを通して調査し、その結果を考察、振り返りを行なった。これが3年間の探究のサイクルの基礎を築くことができたと考えている。

小学校1年生 国語 「ニュースづくりしよう」 【主体的な人】

小1 国語
主体的な人

【実践内容】
① 選択項目→「主体的な人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

小学校3年生 音楽科 「音の重なりを意識して、Believeを歌おう」 【つなぐ力のある人】

小3 音楽科
つなぐ力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「つなぐ力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

中学校3年生 理科 「生命の連続性」 【寛容な人】

中3 理科
寛容な人

【実践内容】
① 選択項目→「寛容な人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

高校3年生 体育 「ファミリー体育」(治部・富尾) 【つなぐ力のある人】

高3 体育
つなぐ力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「つなぐ力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

小学2年生 生活科 「学校をあんないしよう」 【主体的な人】

小2 生活科
主体的な人

【実践内容】
① 選択項目→「主体的な人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

中学3年生 技術・家庭科(技術分野) 「小学校に野菜を供給する農家」 【探求力のある人】

中3 技術・家庭科
探求力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「探求力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

高校2年生 国語 『現代文探求Ⅰ』文章比較 【つなぐ力のある人】

高2 国語
つなぐ力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「つなぐ力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

高校2年生 グローバル探究Ⅱ「個人探究 研究計画書作成」 【探究力のある人】

高2 グローバル探究
探究力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「探究力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

小学校2年生 安全科 「探れ!校内の安全設備~自分の命を守るために」 【探究力のある人】

小2 安全科
探究力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「探究力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

単元名「第二次世界大戦と日本」 【探究力のある人】

中3 社会
探究力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「探究力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

高校2年生 理科「力学的エネルギー保存則」 【探究力のある人】

高2 理科
探究力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「探究力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

高校1年生 現代の国語「音もく変わる言葉」について意見を書く 【つなぐ力のある人】

高1 国語
つなぐ力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「つなぐ力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

小学校1年生 道徳 「うかんだ うかんだ」 【つなぐ力のある人】

小1 道徳
つなぐ力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「つなぐ力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

中学校2年生 保健体育 「跳び箱」 【主体的な人】

中2 保体
主体的な人

【実践内容】
① 選択項目→「主体的な人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

高校2年生 論理・表現Ⅱα 【寛容な人】

高2 論理表現
寛容な人

【実践内容】
① 選択項目→「寛容な人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

高校1年生 歴史総合 「市民革命」 【つなぐ力のある人】

高1 歴史総合
つなぐ力のある人

【実践内容】
① 選択項目→「つなぐ力のある人」
② 学習との関連
③ 目標達成のためにつけるべき力
④ 評価規準の設定
⑤ 成果と課題

国立大学法人 大阪教育大学

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成（2年次）
～グローバル市民コモン・ルーブリックを活用した学習のあり方～

協議の柱

「グローバル市民」を育む授業かどうか？

11月研究授業

～子どもの学びの姿を通して～

グローバル市民の要素

(授業者が選択した)

●育まれていた

- ・どのように？
- ・どんな場面？
- ・効果的か？
- ・教科の特性との関連は？

●育まれていない

育まれていない理由？

- ・教師の関わりや手立て？
- ・教科の特性
- ・教科の見方・考え方

2024.11.16 大阪教育大学池田中学校校内研修会

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成（2年次）

中学校

「グローバル市民」コモン・ルーブリックを活用した学習のあり方

寛容な人

主体的な人

つながりのある人

IKEDA GLOBAL

池田地区が考えるこれからのグローバル市民

探究力のあふれる人

ふかめ



高等学校

はばたく



小学校

ひらき



池田地区が一体となって12年間の教育を進めていく